

学長定例記者会見要項

日 時： 令和7年4月10日（木） 11:00～12:00
場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

発表事項

1. 理工学研究科の安達茜さんが第15回日本学術振興会育志賞を受賞
2. 小白川キャンパス×ミクロン精密(株) 初のコラボレーション！～ 未来を創るプロモーション ～
3. 強い絆で結ばれた山形大学と地域の歩みが明らかに～本学大学院生が旧制山形高等学校創設と寄附の実態を学術論文として発表～
4. グリーミンワイユ（構内清掃チーム）が活動開始～チームのロゴマークは学生達によるデザイン～
5. 朝活応援プロジェクト100の実施について
6. 「山形大学教育改革グランドデザイン2030」を策定しました
7. 令和8年度山形大学入学者選抜 総合型選抜における女子枠の創設について

お知らせ

1. 東日本重粒子センターがオンラインセミナーを開催～難治がんに挑む山形大学の重粒子線治療～
2. 初の「山形大学入学記念キャンペーン」を実施～本学学生へのご支援をお願いします～
3. 高性能で軽量な変化検知技術を開発しました～人工知能分野トップ国際会議 AAAI に採択された技術！～
4. 調湿環境の下で深い傷を引き攣れなく早く治し、傷と癒着しない多糖製結晶質創傷被覆膜を初めて開発～砂糖の主成分（ショ糖）を含ませることで、さらに速く傷が治る～
5. 大阪・関西万博 EARTHMART に古川研究室が出展協力します！～「未来のフロア」にある、「進化する冷凍食」に低温凍結粉碎含水ゲル粉末～
6. そばぁと from 戸沢村

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和7年5月8日（木） 11:00～11:45
場 所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

学長定例記者会見（4月10日）発表

1. 理工学研究科の安達茜さんが第15回日本学術振興会育志賞を受賞

理学部長・指導教員

理工学研究科博士後期課程3年

なびか	ひでき
並河	英紀
あだち	あかね
安達	茜

2. 小白川キャンパス×ミクロン精密(株) 初のコラボレーション！～ 未来を創るプロモーション ～

小白川キャンパス長

ミクロン精密株式会社 代表取締役社長

おおにし	あきまさ
大西	彰正
さかきばら	けんじ
榊原	憲二

3. 強い絆で結ばれた山形大学と地域の歩みが明らかに～本学大学院生が旧制山形高等学校創設と寄附の実態を学術論文として発表～

学術研究院准教授（人文社会科学部主担当）・附属博物館学芸研究員

社会文化創造研究科社会文化システムコース 2年

山形大学ふすま同窓会 会長

おばた	けいすけ
小幡	圭祐
さくま	かなみ
佐久間	佳奈美
たかはし	たかし
高橋	節

4. グリーミンワイユ（構内清掃チーム）が活動開始～チームのロゴマークは学生達によるデザイン～

総務部人事労務課長

総務部人事労務課グリーミンワイユ担当専門職員

地域教育文化学部地域教育文化学科4年

地域教育文化学部地域教育文化学科4年

かさハラ	りゅうじ
笠原	龍司
やぐち	きよし
矢口	清
おおの	あやか
大野	綾華
やまだ	なぎさ
山田	和沙

5. 朝活応援プロジェクト100の実施について

理事（学生支援担当）

いとう	まちこ
伊藤	真知子

6. 「山形大学教育改革グランドデザイン2030」を策定しました

理事（教育担当）

でぐち	たけし
出口	毅

7. 令和8年度山形大学入学者選抜 総合型選抜における女子枠の創設について

理事（教育担当）

でぐち	たけし
出口	毅

令和7年（2025年）4月10日

理工学研究科の安達茜さんが第15回日本学術振興会育志賞を受賞

【本件のポイント】

- 大学院理工学研究科地球共生圏科学専攻・博士後期課程3年の安達茜さんが第15回（令和6（2024）年度）日本学術振興会育志賞を受賞しました。
- 日本学術振興会育志賞は、平成21年に上皇陛下から御下賜金を賜り、若手研究者の養成を図ることを目的に平成22年度に創設されました。将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生に送られる賞です。
- 日本学術振興会育志賞の受賞は山形大学で初の栄誉となります。



【概要】

安達茜さん（理工学研究科地球共生圏科学専攻・博士後期課程3年）が第15回（令和6（2024）年度）日本学術振興会育志賞を受賞しました。この賞は、上皇陛下の天皇御即位20年にあたり、勉学や研究に励んでいる若手研究者を支援・奨励するために創設され、将来我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生に送られる賞です。今年度は全国の大学・学会等からの177名の推薦のうち19名が受賞となりました。今回の賞は、安達さんが博士課程までに進めてきた、分子科学的視点におけるアミロイドβの初期凝集に関する研究が高く評価されたものです。受賞研究題目は「脳間質液流動を模倣した開放系におけるアミロイドβ分子の凝集機構解明」で、2025年3月6日に日本学士院にて授賞式が執り行われました。

【受賞研究内容の概要】

アルツハイマー病はアミロイドβ（Aβ）タンパク質が脳内で凝集し脳細胞表面に吸着する特徴を有しています。脳内は間質液と呼ばれる脳内を満たす溶液が常に流動する環境（開放系）を維持しており、この環境においてAβの凝集や吸着が進行します。特に初期の凝集や吸着を阻止することが急務とされています。本研究では、脳内を模倣した環境にて1分子レベルでAβを追跡できる実験系の構築に成功し、開放系がAβの凝集や吸着のみならず、その性質をも変化させる可能性を見出しました。アルツハイマー病の発症機構の初期段階から開放系を考慮する必要性を提唱し、機構解明への橋掛かりとなる成果になりました。

【本研究の今後の展望】

アルツハイマー病は、発見から100年以上経っても完治することのできない病気です。発症機構から創薬まで、未解明な部分は多々あります。引き続き、化学の視点からアルツハイマー病の発症機構解明に尽力し、薬学や医学、工学等の分野を横断した知識を吸収し新しい発想に繋げながら、学際的研究を進めて参ります。

【さいごに（受賞者メッセージ）】

今回の受賞は、研究を基礎から教えてくださった並河英紀教授をはじめ、家族や支えてくださった皆様のおかげです。今回の受賞を糧にし、さらなる新しい発見をするべくより一層研究に精進する所存です。また、現在は博士後期課程と並行して、本学の地域共創STEAM教育推進センターにてプロジェクト教員も兼任しております。今後は、次世代の子ども達に科学や研究の面白さを伝えるために、教育にも力を入れて参ります。

お問い合わせ

学術研究院教授 並河英紀／理学部主担当

TEL 023-628-4506 メール nabika@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

令和7年（2025年）4月10日

小白川キャンパス×ミクロン精密株式会社 初のコラボレーション！ ～ 未来を創るプロモーション ～

【本件のポイント】

- 小白川キャンパスは、地域企業との連携を強化し「大学会館」の入り口や柱を利用した企業広告プロモーション事業を行います。
- 地元企業がキャンパス内で高いブランド力を発信することは、地域社会と共創する大学として、学生の企業に対する信頼感を醸成することになり、学生という新たな顧客層に企業の存在を効果的にアピールすることができるようになります。
- 地域社会とのつながりを強化し、大学と地域企業の相互発展を促進します。

【概要】

●ミクロン精密株式会社と提携

ミクロン精密株式会社と小白川キャンパスは、大学での広告・プロモーション事業(※)で提携することになりました。

地元企業が、学生の往来が多い「大学会館」の入り口や柱を利用した広告プロモーションを行うことは、地域社会とのつながりを強化するだけでなく、大学と地域企業双方が発展することにつながります。

学生は地域企業の情報を得ることで、企業のサービスや商品に触れる機会が増え、就職活動やインターンシップの機会を広げることができます。

地域企業はキャンパス内での広告を通じて、企業の存在を効果的にアピールすることができるため、就職活動等での人材獲得につながることになり、将来的には地域経済が活性化することにつながります。

本事業初の小白川キャンパスと地元企業とのコラボレーションは、大学と地域企業の相互発展を促進し、互いに利益をもたらすものと確信しています。

ミクロン精密株式会社～（会社概要）～

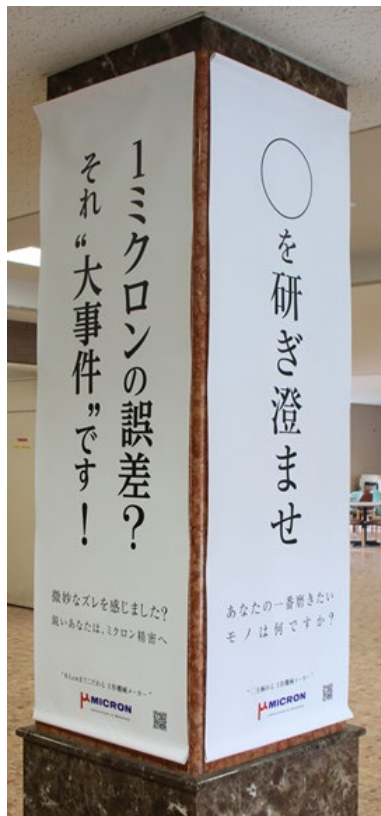
1961年10月6日設立。世界のものづくりを支える研削盤メーカーとして、「技術と人柄」を社是に掲げ、研削加工技術をベースとし、地球環境や資源への配慮、急速に高度化する社会的ニーズや新しい価値観を見極め、社会に求められる人間性、公共性をも広範に具現する企業活動を展開している。

※大学での広告・プロモーション事業・・・大学構内や大学周辺で商品やサービスを宣伝したり、企業をPRしたりする活動。

大学会館は、生協わきの坂を上って右手の建物です。広告は、正面入口付近にあります。
ご自由にご覧ください。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

●大学会館入口における広告



柱4面のうちの2面



柱4面のうちの2面



自動ドアのカオ

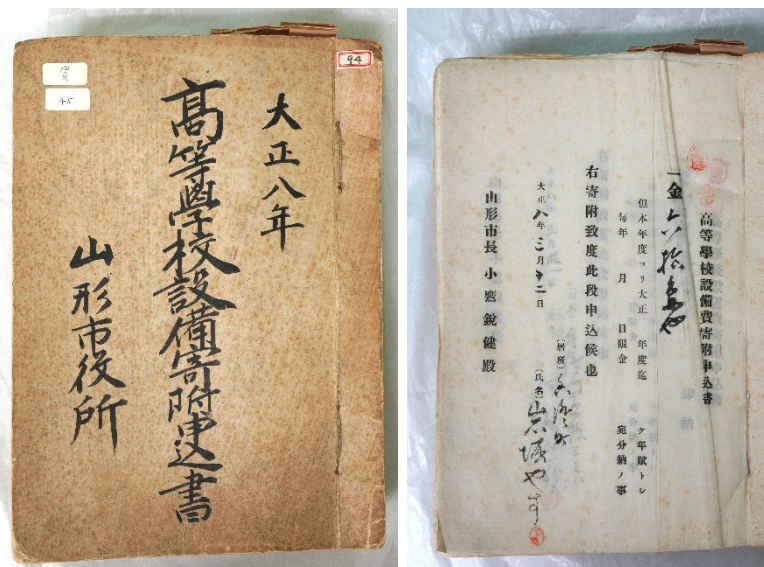
お問い合わせ
山形大学小白川キャンパス事務部総務課
(社会連携担当)
電 話 023-628-4305
E-Mail yu-ksrt@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和7年（2025年）4月10日

強い絆で結ばれた山形大学と地域の歩みが明らかに ～本学大学院生が旧制山形高等学校創設と寄附の実態を学術論文として発表～

【本件のポイント】

- 山形大学の前身の一つである旧制山形高等学校は、地域の方々から多額の寄附によって設立されました。このたび、どのような方々が寄附を行ったのか、寄附者の実態が初めて明らかとなりました。
- 本学の社会文化創造研究科に在籍する大学院生の佐久間佳奈美さんが、ふすま同窓会が所蔵する『高等学校設備寄附申込書』を分析し、その成果は学術論文として令和7年3月刊行の『東北大学史料館研究報告』第20号に掲載されました。
- 論文は東北大学機関リポジトリにてデータが公開されるほか、印刷したものを寄附者のご子孫に無料で配布します。



『高等学校設備寄附申込書』（ふすま同窓会所蔵）

【概要】

山形大学は昭和24年（1949年）に、5つの教育機関（山形高等学校・山形師範学校・山形青年師範学校・米沢工業専門学校・山形県立農林専門学校）を母体に、新制国立大学として設置されました。このうち、大正9年（1920年）に設立された山形高等学校は、地域の方々からの多額の寄附によって設立されたことは従来から知られていましたが、このたび、どのような方々が寄附を行ったのか、寄附者の実態が初めて明らかとなりました。

これは、山形大学社会文化創造研究科に在籍し歴史学を専攻している大学院生の佐久間佳奈美さん（令和6年度ティーデマン・ふすま賞受賞）が、山形高等学校・山形大学文理学部・人文学部・人文社会科学部・理学部の同窓会組織である、ふすま同窓会が所蔵する『高等学校設備寄附申込書』を詳細に分析した結果として明らかになったものです。『高等学校設備寄附申込書』は、旧制山形高等学校の創設費用79万5000円のうち、山形市を通じてなされた寄附約20万円（現在の価値に換算するとおよそ1～2億円）の寄附者の情報が記されています。分析の結果、寄附者の総数は668（団体26・個人642）にのぼり、山形市の商工業者を中心とした幅広い層の方々から寄附がなされていたことがわかりました。寄附者のご子孫には、現在も地域で活躍している団体・個人も多数見受けられます。

研究の成果は、佐久間さんと指導教員の小幡圭祐学術研究院准教授（人文社会科学部主担当）の共著で学術論文としてまとめられ、令和7年3月に刊行された『東北大学史料館研究報告』第20号に「寄附からみた旧制山形高等学校の創設と地域社会」とのタイトルで掲載されました。論文は東北大学機関リポジトリ（TOUR）にてデータが公開され、自由に閲覧することができます。また、寄附者のご子孫の皆様には、論文を印刷した抜き刷りを無料で配布します（先着30名様）。

【東北大学機関リポジトリ（TOUR）】

■ URL : <https://tohoku.repo.nii.ac.jp/records/2003553>

【抜き刷り配布の連絡先：山形大学基金事務局】

■ 担当 : 樋口浩朗（メール：yu-kikin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp / 電話：023-628-4280）

お問い合わせ

学術研究院准教授（人文社会科学部主担当・附属博物館学芸研究員） 小幡圭祐
メール：obata@human.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【旧制山形高等学校創設にかかる寄附者一覧（山形市）】

仮番	属性	氏名	住所	金額	申込日
1	個人	岩堀やす	香澄町	60	大正8年3月12日
2	個人	伊藤正義	香澄町	25	大正8年3月31日
3	個人	林清憲	香澄町	100	大正8年3月12日
4	個人	服部清	香澄町	50	大正8年3月12日
5	個人	戸狩権之助	香澄町	50	大正8年4月7日
6	個人	大石五郎	香澄町	50	—
7	個人	大山作兵衛	香澄町	50	大正8年3月30日
8	個人	小野治三郎	香澄町	25	大正8年3月19日
9	個人	大場徳太郎	香澄町	40	大正8年3月13日
10	個人	渡邊百朗	香澄町	50	大正8年3月13日
11	個人	川瀬兼治	香澄町	40	大正8年3月30日
12	個人	金森乙治	香澄町	35	大正8年3月28日
13	個人	谷泰次郎	香澄町	25	大正8年3月28日
14	個人	市村治三郎	香澄町	55	大正8年3月12日
15	個人	高橋元生	香澄町	50	大正8年3月12日
16	個人	高橋甚吉	香澄町	60	大正8年3月12日
17	個人	長尾景輝	香澄町	40	大正8年3月12日
18	個人	長井良助	香澄町	200	大正8年3月12日
19	個人	内藤いま	香澄町	25	大正8年4月1日
20	個人	草刈弥吉	香澄町	45	大正8年3月29日
21	個人	前田良平	香澄町	40	大正8年3月27日
22	個人	江川熊治	香澄町	60	大正8年3月31日
23	個人	赤谷元馳	香澄町	35	大正8年4月2日
24	個人	朝一喜兵衛	香澄町	30	大正8年4月10日
25	個人	安達広太	香澄町	25	大正8年3月31日
26	個人	坂本徳寿	香澄町※	250	大正8年3月12日
27	個人	坂口格太郎	香澄町	45	大正8年3月12日
28	個人	佐藤米次	香澄町	50	大正8年3月13日
29	個人	佐藤熊太郎	香澄町	70	大正8年3月12日
30	個人	木俣弥太郎	香澄町	50	大正8年3月27日
31	個人	三澤伝三助	香澄町	45	大正8年3月12日
32	個人	溝尾録太郎	香澄町	70	大正8年3月17日
33	個人	庄司春蔵	香澄町	25	大正8年3月29日
34	個人	柴田弥市郎	香澄町	140	大正8年2月13日
35	個人	庄司万三郎	香澄町	55	大正8年3月12日
36	個人	鈴木常蔵	香澄町	35	大正8年3月27日
37	個人	岩城庄兵工	上町	35	大正8年2月28日
38	個人	池田興吉	上町	75	大正一年2月12日
39	個人	井上光太郎	上町	55	大正8年2月28日
40	個人	井上新次郎	上町	40	大正8年2月28日
41	個人	富田吉蔵	上町	55	大正8年2月28日
42	個人	富塚惣三郎	上町	45	大正8年3月3日
43	個人	大澤兵右衛門	上町	45	大正8年2月28日
44	個人	大沼長兵衛	上町	70	大正8年3月20日
45	個人	大泉庄次郎	上町	45	大正8年2月28日
46	個人	大沼米蔵	上町	80	大正8年2月28日
47	個人	川股寅治	上町	25	大正8年2月28日
48	個人	加藤久助	上町	45	大正8年2月28日
49	個人	片桐房吉	上町	55	大正8年3月3日
50	個人	吉田吉助	上町	100	大正8年2月28日
51	個人	田崎利三郎	上町	40	大正8年3月1日
52	個人	武田米蔵	上町	25	大正8年2月28日
53	個人	高橋善吉	上町	35	大正8年3月1日
54	個人	武田興右工門	上町	60	大正8年2月28日
55	個人	武田彦吉	上町	25	大正8年2月28日
56	個人	高橋吉三郎	上町	40	大正8年2月28日
57	個人	中村丹治	上町	140	大正8年2月13日
58	個人	浦山清太郎	上町	80	大正一年2月13日
59	個人	工藤吉太郎	上町※	500	大正8年2月13日
60	個人	山口啓	上町※	40	大正8年3月13日
61	個人	山口吉蔵	上町	50	大正8年3月13日
62	個人	山口久松	上町	70	大正8年3月6日
63	個人	山口吉兵工	上町	70	大正8年2月28日
64	個人	藤谷吉助	上町	25	大正8年2月28日
65	個人	結城弁蔵	上町	25	大正8年2月28日
66	個人	三沢清六	上町	25	大正8年3月1日
67	個人	神保乗太郎	上町	25	大正8年2月26日
68	個人	平吹善次郎	上町	35	大正8年3月1日
69	個人	鈴木彦七	上町	50	大正8年2月28日
70	個人	鈴木栄蔵	上町	35	大正8年2月27日
71	個人	石田定治	五日町	35	大正8年3月1日
72	個人	早坂徳三郎	五日町	60	大正8年2月28日
73	個人	早坂喜次郎	五日町	25	大正8年3月1日
74	個人	大山八太郎	五日町	25	大正8年3月1日
75	個人	大沼佑太郎	五日町	60	大正8年3月1日
76	個人	高橋友吉	五日町	35	大正8年3月1日
77	個人	山口金五郎	五日町	25	大正8年2月28日
78	個人	山田善兵工	五日町	50	大正8年11月28日
79	個人	牧田久四郎	五日町	25	大正8年3月1日
80	個人	庄司マサ	五日町	40	大正8年3月1日

仮番	属性	氏名	住所	金額	申込日
81	個人	平吹庄五郎	五日町	25	大正8年2月28日
82	個人	森谷善作	五日町	35	大正8年3月1日
83	個人	稲垣友衛	八日町	40	大正8年3月3日
84	個人	西村藤十郎	八日町	70	大正8年3月1日
85	個人	星川良昭	八日町	35	大正8年3月3日
86	個人	豊田芳義	八日町	200	大正8年2月25日
87	個人	豊田伊右衛門	八日町	1600	大正8年2月15日
88	個人	尾関七之助	八日町	900	大正8年2月8日
89	個人	尾原儀助	八日町	1000	大正8年2月17日
90	個人	尾原栄次郎	八日町	300	大正8年2月17日
91	個人	尾関千代松	八日町	25	大正8年3月2日
92	個人	尾関吉助	八日町	40	大正8年3月3日
93	個人	和田金助	八日町	45	大正8年3月2日
94	個人	川合健三郎	八日町	35	大正8年3月2日
95	個人	川合孫四郎	八日町	700	大正8年2月8日
96	個人	吉田杖之助	八日町	40	大正8年3月2日
97	個人	高橋昆兵衛	八日町	100	大正8年2月13日
98	個人	武田伝右衛門	八日町	80	大正8年2月13日
99	個人	高橋孝七	八日町	25	大正8年3月2日
100	個人	大谷宗吉	八日町	35	大正8年3月4日
101	個人	土谷旗太郎	八日町	40	大正8年3月3日
102	個人	長岡孫右工門	八日町	35	大正8年3月18日
103	個人	草刈新次郎	八日町	80	大正8年2月8日
104	個人	黒田玄仙	八日町	45	大正8年3月2日
105	個人	佐々木春作	八日町	45	大正8年3月1日
106	個人	寒河江トミ	八日町	45	大正8年3月3日
107	個人	笹原亀太	八日町	1000	大正8年2月4日
108	個人	佐藤ちよ	八日町※	100	大正8年2月8日
109	個人	佐藤源治	八日町	125	大正8年2月8日
110	個人	志鎌小平治	八日町	1600	大正8年3月14日
111	個人	門馬直蔵	八日町	100	大正8年2月8日
112	個人	鈴木庄八	八日町※	80	大正8年2月13日
113	個人	鈴木要蔵	八日町	300	大正8年2月13日
114	個人	佐藤新次郎	鉄砲町	50	大正8年3月1日
115	個人	石川弥次郎	鉄砲町	25	大正8年4月1日
116	個人	早坂享助	鉄砲町	50	大正8年3月3日
117	個人	新関庄太郎	鉄砲町	80	大正8年3月3日
118	個人	堀江代吉	鉄砲町	35	大正8年3月30日
119	個人	大内清八	鉄砲町	35	大正8年3月3日
120	個人	尾関定治	鉄砲町	125	大正8年3月3日
121	個人	渡邊近七	鉄砲町	300	大正8年3月3日
122	個人	金子栄作	鉄砲町	45	大正8年3月1日
123	個人	丹野小八	鉄砲町	55	大正8年3月3日
124	個人	高橋安太郎	鉄砲町	55	大正8年3月1日
125	個人	田中喜兵衛	鉄砲町	45	大正8年3月1日
126	個人	山本子ノ吉	鉄砲町	60	大正8年3月1日
127	個人	斎藤作次郎	鉄砲町	45	大正8年3月5日
128	個人	酒井源治	鉄砲町	35	大正8年3月30日
129	個人	結城藤蔵	鉄砲町	35	大正8年3月30日
130	個人	鈴木貞蔵	鉄砲町	60	大正8年3月3日
131	個人	後藤久兵衛	鉄砲町	60	大正8年3月1日
132	個人	鈴木傳五郎	鉄砲町	40	大正8年3月13日
133	個人	伊東健三郎	三日町	6000	大正8年3月7日
134	個人	林多七	三日町	25	大正8年3月28日
135	個人	長谷川吉三郎	三日町	18500	大正8年1月17日
136	個人	大沼長作	三日町	25	大正8年3月29日
137	個人	小島七郎	三日町	55	大正8年3月14日
138	個人	小島源治	三日町	550	大正8年3月14日
139	個人	加藤佑吉	三日町	100	大正8年3月1日
140	個人	長津昭久	三日町	100	大正8年3月25日
141	個人	福島治助	三日町※	4500	大正8年1月23日
142	個人	小林芳吉	三日町	35	大正8年3月14日
143	個人	阿部長七	三日町	45	大正8年3月20日
144	個人	佐藤格兵工	三日町	35	大正8年3月14日
145	個人	佐藤久吉	三日町	70	大正8年3月14日
146	個人	佐藤久太郎	三日町	100	大正8年3月14日
147	個人	鈴木源三郎	三日町	55	大正8年3月14日
148	個人	林谷孝太郎	小荷駄町	70	大正8年3月15日
149	個人	高橋兵介	小荷駄町	70	大正8年3月25日
150	個人	小鹿野介	小荷駄町	40	大正8年3月14日
151	個人	遠藤周介	小荷駄町	80	大正8年3月14日
152	個人	伊藤彦六	二日町	300	大正8年2月28日
153	個人	本田安之助	二日町	70	大正8年4月7日
154	個人	大場寛五郎	二日町	500	大正8年2月8日
155	個人	布見政吉	二日町	100	大正8年2月8日
156	個人	遠藤仲五郎	二日町	700	大正8年2月12日
157	個人	市村喜兵衛	十日町	55	大正8年3月13日
158	個人	長谷川吉内	十日町	9000	大正8年1月18日
159	個人	蜂屋宗次郎	十日町	40	大正8年3月16日
160	個人	西村瞭	十日町	40	大正8年3月13日

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

仮番	属性	氏名	住所	金額	申込日
161	個人	星野吉兵衛	十日町	100	大正8年3月13日
162	個人	細谷五郎	十日町	40	大正8年3月31日
163	個人	富樫元次郎	十日町	25	大正8年3月13日
164	個人	小島八蔵	十日町	60	大正8年3月16日
165	個人	小島源三郎	十日町	100	大正8年3月13日
166	個人	尾原久治郎	十日町	55	大正8年3月13日
167	個人	渡邊安兵衛	十日町	1300	大正8年2月20日
168	個人	吉田奉次郎	十日町	1600	大正8年1月29日
169	個人	吉池省宏	十日町	200	大正8年3月13日
170	個人	高橋喜兵衛	十日町	55	大正8年3月13日
171	個人	中村喜兵衛	十日町	6000	大正8年3月7日
172	個人	村井三雄蔵	十日町	3500	大正8年2月27日
173	個人	室岡マス	十日町	125	大正8年3月20日
174	個人	草刈茂太郎	十日町	50	大正8年3月13日
175	個人	山口権之助	十日町	40	大正8年3月13日
176	個人	矢尾信一	十日町	700	大正8年3月13日
177	個人	藤田徳五郎	十日町	40	大正8年3月13日
178	個人	藤田長兵衛	十日町	100	大正8年3月14日
179	個人	蒼井小次三郎	十日町	35	大正8年3月13日
180	個人	安田翁作	十日町	100	大正8年3月13日
181	個人	青木吉五郎	十日町	50	大正8年3月13日
182	個人	坂堂久兵衛	十日町	140	大正8年3月13日
183	個人	佐藤利兵衛	十日町	200	大正7年3月13日
184	個人	坂堂二三郎	十日町	125	大正8年3月15日
185	個人	佐藤庄蔵	十日町	25	大正8年3月13日
186	個人	佐藤儀助	十日町	55	大正8年3月31日
187	個人	佐藤利右エ門	十日町	70	大正8年3月30日
188	個人	富木與作	材木町	100	大正8年2月27日
189	個人	近江松次郎	材木町	70	大正8年2月27日
190	個人	渡邊久治	材木町	35	大正8年3月26日
191	個人	丹野英太郎	材木町	55	大正8年2月27日
192	個人	阿部茂七	材木町	375	大正8年3月1日
193	個人	蛭川甚六	材木町	35	大正8年4月15日
194	個人	木村長吉	材木町	50	大正8年3月2日
195	個人	曾根八十八	地蔵町	25	大正8年3月9日
196	個人	阿部五郎	地蔵町	25	大正8年3月7日
197	個人	三條愛之介	地蔵町	25	大正8年3月6日
198	個人	佐藤儀兵衛	地蔵町	50	大正8年3月6日
199	個人	佐原忠太	地蔵町	70	大正8年3月6日
200	個人	千歳マツ	諏訪町	35	大正8年2月27日
201	個人	開沼勇次郎	諏訪町	25	大正8年3月2日
202	個人	山本鶴確	諏訪町	60	大正8年2月27日
203	個人	藤田幸助	諏訪町	25	大正8年3月9日
204	個人	佐藤久五郎	諏訪町※	700	大正8年2月27日
205	個人	佐藤吉之助	諏訪町	80	大正8年2月27日
206	個人	佐藤竹治	諏訪町	55	大正8年2月27日
207	個人	佐藤兵三郎	諏訪町	40	大正8年2月27日
208	個人	佐藤善二郎	諏訪町	50	大正8年2月27日
209	個人	木野原介	諏訪町	40	大正8年2月27日
210	個人	鈴木戒珠	諏訪町	60	大正8年2月27日
211	個人	岩井庄太郎	小姓町	35	大正8年3月15日
212	個人	堀竹松	小姓町	40	大正8年3月4日
213	個人	岡崎晁作	小姓町	40	大正8年3月3日
214	個人	小関彦太郎	小姓町	87.5	大正8年2月26日
215	個人	大津辰之助	小姓町	210	大正8年2月26日
216	個人	金井邊郎	小姓町	150	大正8年3月6日
217	個人	加藤茂三郎	小姓町	40	大正8年2月26日
218	個人	吉野庄太郎	小姓町	40	大正8年2月26日
219	個人	田中徳蔵	小姓町	60	大正8年3月3日
220	個人	高橋藤蔵	小姓町	40	大正8年3月3日
221	個人	中村彦三郎	小姓町	37.5	大正8年2月26日
222	個人	長島シン	小姓町	90	大正8年2月26日
223	個人	中山善助	小姓町	50	大正8年4月1日
224	個人	村田金助	小姓町	30	大正8年3月25日
225	個人	山鹿源作	小姓町	300	大正8年2月26日
226	個人	松井久四郎	小姓町	550	大正8年2月26日
227	個人	小松季蔵	小姓町	500	大正8年2月17日
228	個人	駒谷キウ	小姓町	25	大正8年3月7日
229	個人	会津為計	小姓町	40	大正8年4月4日
230	個人	佐久間茂登七	小姓町	45	大正8年3月4日
231	個人	佐藤捷内	小姓町	50	大正8年4月1日
232	個人	坂田定治	小姓町	105	大正8年2月26日
233	個人	菊池ミエ	小姓町	35	大正8年3月14日
234	個人	神保捨松	小姓町※	60	大正8年2月26日
235	個人	庄司横太郎	小姓町	110	大正8年3月3日
236	個人	庄司其太	小姓町	45	大正8年3月9日
237	個人	鈴木三郎	小姓町	105	大正8年2月26日
238	個人	叶内長三郎	蛭燭町	250	大正8年2月26日
239	個人	中山直助	蛭燭町	250	大正8年2月27日
240	個人	中村助次郎	蛭燭町	40	大正8年4月5日

仮番	属性	氏名	住所	金額	申込日
241	個人	佐藤長太郎	蛭燭町	25	大正8年4月7日
242	個人	佐竹久六	蛭燭町	25	大正8年2月8日
243	個人	榎森伊兵衛	塗師町	25	大正8年4月5日
244	個人	庄司直太郎	塗師町	100	大正8年2月23日
245	個人	田中源右衛門	横町	70	大正8年3月9日
246	個人	庄司幸作	横物町	25	大正8年3月9日
247	個人	鈴木幸介	横物町	40	大正8年3月4日
248	個人	鈴木太三郎	横物町	100	大正8年4月2日
249	個人	伊藤恭	横町	45	大正8年3月7日
250	個人	池田鶴吉	横町	60	大正8年3月20日
251	個人	市村弥兵衛	横町	120	大正8年2月7日
252	個人	今泉吉之助	横町	80	大正8年3月30日
253	個人	堀川梯吉	横町	25	大正8年3月5日
254	個人	豊岡利助	横町	40	大正8年3月3日
255	個人	鳥海徳次郎	横町	65	大正8年3月4日
256	個人	小島六朗	横町	100	大正8年3月4日
257	個人	大築庄五郎	横町	55	大正8年3月4日
258	個人	高橋千代	横町	45	大正8年3月9日
259	個人	武田莊三郎	横町	25	大正8年3月4日
260	個人	中村長治郎	横町	500	大正8年3月4日
261	個人	中村善次郎	横町	70	大正8年3月4日
262	個人	山口清右衛門商店	横町	25	大正8年3月9日
263	個人	牧谷彦吉	横町	35	大正8年3月9日
264	個人	榎森助右衛門	横町	60	大正8年3月4日
265	個人	寺崎彌兵衛	横町	100	大正8年2月7日
266	個人	斯波快助	横町	550	大正8年2月22日
267	個人	妹尾政助	横町	140	大正8年2月28日
268	個人	五十嵐太右衛門	七日町	500	大正8年2月6日
269	個人	伊勢善太郎	七日町	105	大正8年3月4日
270	個人	岩淵栄治	七日町	200	大正8年2月4日
271	個人	市島席吉	七日町	55	大正8年3月6日
272	個人	原田政吉	七日町※	300	大正8年2月7日
273	個人	原田文吉	七日町	25	大正8年3月4日
274	個人	蜂屋五郎兵衛	七日町	900	大正8年2月6日
275	個人	富田秀弥	七日町	125	大正8年2月6日
276	個人	大沼保吉	七日町	900	大正8年2月4日
277	個人	大場長治郎	七日町	40	大正8年3月4日
278	個人	大久保チヨ	七日町	50	大正7年3月4日
279	個人	太田留吉	七日町	25	大正8年3月7日
280	個人	渡邊由蔵	七日町	25	大正8年3月7日
281	個人	渡邊ゆき	七日町	80	大正8年2月7日
282	個人	和田為吉	七日町	50	大正8年3月6日
283	個人	柿本昇	七日町	500	大正8年2月23日
284	個人	川村猪三郎	七日町	45	大正8年4月3日
285	個人	角田純一	七日町	35	大正8年3月11日
286	個人	金山甚作	七日町	50	大正8年3月4日
287	個人	門脇利平	七日町	45	大正8年3月4日
288	個人	横田元気	七日町	80	大正8年2月6日
289	個人	高橋小四郎	七日町	1600	大正8年1月29日
290	個人	丹野孝治郎	七日町	375	大正8年2月7日
291	個人	玉川彦兵衛	七日町	80	大正8年2月7日
292	個人	武田卯之松	七日町	125	大正8年2月23日
293	個人	竹野省吉	七日町	375	大正8年2月7日
294	個人	丹野利助	七日町	70	大正8年3月6日
295	個人	武田清三郎	七日町	40	大正8年3月6日
296	個人	高橋六蔵	七日町	115	大正8年3月4日
297	個人	武田幸吉	七日町	25	大正8年3月4日
298	個人	丹野寅吉	七日町	45	大正8年3月4日
299	個人	高橋栄次郎	七日町	55	大正8年3月4日
300	個人	中村徳太郎	七日町	60	大正8年3月3日
301	個人	長岡彌一郎	七日町	300	大正8年2月6日
302	個人	向永治	七日町	25	大正8年3月8日
303	個人	葦壁熊五郎	七日町	70	大正8年3月7日
304	個人	日下部元七	七日町	40	大正8年3月7日
305	個人	葦刈源助	七日町	40	大正8年3月4日
306	個人	国井庫	七日町	35	大正8年3月6日
307	個人	藤田弥助	七日町	35	大正8年3月7日
308	個人	牧谷新兵衛	七日町	375	大正8年2月6日
309	個人	牧谷卯兵衛	七日町	50	大正8年3月4日
310	個人	松倉政治	七日町	80	大正8年3月4日
311	個人	前田吉松	七日町	60	大正8年3月7日
312	個人	古川長七	七日町	45	大正8年3月6日
313	個人	小林忠右衛門	七日町	140	大正8年2月7日
314	個人	後藤吉治郎	七日町	25	大正8年3月4日
315	個人	遠藤純平	七日町	60	大正8年3月4日
316	個人	遠藤安蔵	七日町	80	大正8年3月4日
317	個人	寺崎長吉	七日町	700	大正8年3月4日
318	個人	安藤市兵衛	七日町	60	大正8年3月4日
319	個人	堀妻安治郎	七日町	50	大正8年3月6日
320	個人	會田禎七	七日町※	100	大正8年2月23日

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

仮番	属性	氏名	住所	金額	申込日
321	個人	荒井長作	七日町※	125	大正8年2月23日
322	個人	會津栄三郎	七日町	50	大正8年3月4日
323	個人	佐藤善治	七日町	700	大正8年2月4日
324	個人	佐藤長六	七日町	50	大正8年3月6日
325	個人	佐藤栄次郎	七日町	70	大正8年3月27日
326	個人	佐藤仲治	七日町	35	大正8年3月6日
327	個人	佐藤政吉	七日町	50	大正8年3月6日
328	個人	佐藤長太郎	七日町	40	大正8年4月6日
329	個人	佐藤栄造	七日町	40	大正8年3月14日
330	個人	佐藤與惣吉	七日町	80	大正8年3月3日
331	個人	澤渡吉蔵	七日町	500	大正8年2月26日
332	個人	齋藤助右衛門	七日町	200	大正8年2月26日
333	個人	部野五兵衛	七日町	300	大正8年2月6日
334	個人	坂勘七	七日町	140	大正8年2月4日
335	個人	更科與八	七日町	25	大正8年3月6日
336	個人	水口久兵衛	七日町	300	大正8年2月22日
337	個人	湖コウ	七日町	125	大正8年2月7日
338	個人	三嶽権蔵	七日町	50	大正8年3月7日
339	個人	庄司為次郎	七日町	1600	大正8年1月29日
340	個人	庄司勇吉	七日町	45	大正8年3月9日
341	個人	庄司惣太郎	七日町	60	大正8年3月6日
342	個人	庄司亀吉	七日町	50	大正8年3月6日
343	個人	廣野長治	七日町	100	大正8年2月7日
344	個人	稲田松吉	旅籠町	80	大正8年2月14日
345	個人	石澤米具美	旅籠町	40	大正8年3月7日
346	個人	石山兵四郎	旅籠町	40	大正8年3月7日
347	個人	飯野六四郎	旅籠町	40	大正8年3月21日
348	個人	市村トネ	旅籠町	60	大正8年3月12日
349	個人	五十嵐裕助	旅籠町	45	大正8年3月27日
350	個人	石塚定七	旅籠町	40	大正8年3月25日
351	個人	服部作弥	旅籠町	80	大正8年2月14日
352	個人	西谷ツル	旅籠町	375	大正8年2月14日
353	個人	新関平七	旅籠町	500	大正8年2月27日
354	個人	西谷喜八	旅籠町	50	大正8年3月7日
355	個人	新関トネ	旅籠町	100	大正8年3月18日
356	個人	西野慎一	旅籠町	80	大正8年2月7日
357	個人	富岡善助	旅籠町	35	大正8年3月24日
358	個人	豊田仁兵衛	旅籠町	60	大正8年3月7日
359	個人	戸田敬一郎	旅籠町	40	大正8年3月21日
360	個人	大内有則	旅籠町	35	大正8年3月7日
361	個人	小島源五郎	旅籠町	60	大正8年3月21日
362	個人	渡邊彦太郎	旅籠町	200	大正8年4月14日
363	個人	渡邊正三郎	旅籠町	300	大正8年2月23日
364	個人	渡邊鐵太郎	旅籠町	300	大正8年2月22日
365	個人	若松久米吉	旅籠町※	50	大正8年3月21日
366	個人	渡邊源二郎	旅籠町	45	大正8年3月7日
367	個人	渡辺弥太郎	旅籠町	1300	大正8年3月29日
368	個人	吉田福平	旅籠町	50	大正8年3月7日
369	個人	高橋市蔵	旅籠町	35	大正8年3月7日
370	個人	田代ヒサ	旅籠町	25	大正8年3月7日
371	個人	田中兵次郎	新堀一番通り	200	大正8年3月12日
372	個人	高橋倫之助	旅籠町	40	大正8年3月29日
373	個人	塚田正一	旅籠町	70	大正8年3月20日
374	個人	中村茂助	旅籠町	125	大正8年2月14日
375	個人	中村円次郎	旅籠町	60	大正8年3月24日
376	個人	中村幸兵エ	旅籠町	40	大正8年3月7日
377	個人	奈良村正則	旅籠町	45	大正8年3月21日
378	個人	中井川為助	旅籠町	45	大正8年3月7日
379	個人	野村乙矢	旅籠町	50	大正8年3月7日
380	個人	山鹿繁蔵	旅籠町	100	大正8年3月7日
381	個人	國井常吉	旅籠町	60	大正8年3月10日
382	個人	熊谷未蔵	旅籠町	55	大正8年3月7日
383	個人	丸山督	旅籠町	55	大正8年3月8日
384	個人	升川倉松	旅籠町	60	大正8年3月24日
385	個人	富士田久之助	旅籠町	55	大正8年3月26日
386	個人	後藤恒蔵	旅籠町	25	大正8年3月21日
387	個人	後藤マス	旅籠町	335	大正8年3月18日
388	個人	小林栄一郎	旅籠町	550	大正8年2月14日
389	個人	香坂駒太郎	旅籠町	200	大正8年4月2日
390	個人	小鷹鋭健	旅籠町	50	大正8年3月31日
391	個人	荒木清蔵	旅籠町	40	大正8年3月7日
392	個人	荒川重蔵	旅籠町	50	大正8年3月3日
393	個人	佐藤治三郎	旅籠町	55	大正8年3月10日
394	個人	坂部藤太郎	旅籠町	60	大正8年3月7日
395	個人	佐藤米助	旅籠町	55	大正8年3月7日
396	個人	佐治トヨ	旅籠町	125	大正8年2月14日
397	個人	木村良朝	旅籠町	25	大正8年3月7日
398	個人	三澤市兵衛	旅籠町	80	大正8年2月14日
399	個人	三井三太郎	旅籠町	50	大正8年3月7日
400	個人	三浦新兵衛	旅籠町※	700	大正8年3月15日

仮番	属性	氏名	住所	金額	申込日
401	個人	三浦和平	旅籠町※	1300	大正8年1月29日
402	個人	廉間留吉	旅籠町	115	大正8年2月14日
403	個人	菅井定五郎	旅籠町	100	大正8年3月24日
404	個人	鈴木きの	旅籠町	35	大正8年3月31日
405	個人	鈴木徳多郎	旅籠町	25	大正8年3月27日
406	個人	鈴木吉蔵	旅籠町	80	大正8年3月20日
407	個人	市村吉太郎	六日町	55	大正8年3月8日
408	個人	稲田亀吉	六日町	40	大正8年3月8日
409	個人	伊東常治郎	六日町	40	大正8年3月8日
410	個人	稲田善兵衛	六日町	1150	大正8年1月15日
411	個人	稲田善三郎	六日町	1000	大正8年1月29日
412	個人	原田彦吉	六日町	45	大正8年3月8日
413	個人	小嶋九兵衛	六日町	40	大正8年3月8日
414	個人	大森重蔵	六日町	70	大正8年3月12日
415	個人	渡辺傳三郎	六日町	550	大正8年2月4日
416	個人	加藤権蔵	六日町	40	大正8年3月8日
417	個人	吉田幾次郎商店	六日町	55	大正8年3月8日
418	個人	田中茂兵衛	六日町	25	大正8年3月8日
419	個人	田中亀治	六日町	80	大正8年2月5日
420	個人	田中重蔵	新築西通り	40	大正8年3月13日
421	個人	高橋助治郎	六日町	40	大正8年3月7日
422	個人	中村松太郎	六日町	70	大正8年3月7日
423	個人	宇野乙次	六日町	35	大正8年3月8日
424	個人	工藤茂定郎	六日町	70	大正8年3月8日
425	個人	山口多五郎	六日町	25	大正8年3月8日
426	個人	山口文治	六日町	100	大正8年3月30日
427	個人	深瀬トヤ	六日町	45	大正8年3月12日
428	個人	藤井武助	六日町	70	大正8年3月8日
429	個人	秋山彦太郎	六日町	125	大正8年2月14日
430	個人	笹村吉太郎	六日町	35	大正8年3月8日
431	個人	佐藤勘助	六日町	500	大正8年2月5日
432	個人	佐藤多之助	六日町	80	大正8年2月5日
433	個人	横柳寅治	六日町	40	大正8年3月30日
434	個人	三澤友吉	六日町	25	大正8年3月12日
435	個人	鹿間吉蔵	六日町	50	大正8年3月8日
436	個人	菅野代助	六日町	50	大正8年3月8日
437	個人	菅野殊之助	六日町※	25	大正8年3月8日
438	個人	鈴木吉助	六日町	55	大正8年3月8日
439	個人	鈴木隼太郎	六日町	50	大正8年4月1日
440	個人	鈴木活助	六日町	200	大正8年2月5日
441	個人	斯波平三郎	六日町	140	大正8年2月5日
442	個人	五百川作助	鍛冶町	1300	大正8年2月19日
443	個人	五百川作太郎	鍛冶町	300	大正8年2月19日
444	個人	石原末蔵	鍛冶町	80	大正8年2月8日
445	個人	大沼常助	鍛冶町	40	大正8年3月9日
446	個人	大江甚六	鍛冶町	25	大正8年3月31日
447	個人	粕谷祐吉	鍛冶町※	45	大正8年3月9日
448	個人	妻沼彦次郎	鍛冶町	25	大正8年3月9日
449	個人	妻沼惣助	鍛冶町	25	大正8年3月9日
450	個人	山岸富五郎	鍛冶町	1300	大正8年1月15日
451	個人	齋藤小作	鍛冶町	25	大正8年3月25日
452	個人	佐藤安蔵	鍛冶町	45	大正8年3月9日
453	個人	結城清介	鍛冶町	50	大正8年3月9日
454	個人	東海林與四郎	鍛冶町	25	大正8年3月9日
455	個人	東海林文三郎	鍛冶町	40	大正8年3月9日
456	個人	東海林権助	鍛冶町	35	大正8年3月9日
457	個人	平吹長之助	鍛冶町	70	大正8年3月9日
458	個人	平吹祐作	鍛冶町	800	大正8年2月8日
459	個人	鈴木重蔵	鍛冶町	25	大正8年3月25日
460	個人	大瀧市郎治	四日町	100	大正8年2月18日
461	個人	渡辺吉兵衛	四日町	12000	大正8年2月23日
462	個人	山下恒五郎	四日町	40	大正8年3月9日
463	個人	小林栄七	四日町	80	大正8年2月19日
464	個人	佐藤東二郎	四日町	100	大正8年2月8日
465	個人	佐藤豊治	四日町	40	大正8年3月9日
466	個人	三浦健四郎	四日町※	11500	大正8年1月29日
467	個人	三浦サヨ	四日町	55	大正8年3月9日
468	個人	鈴木庄治郎	四日町	35	大正8年3月9日
469	個人	川島富五郎	小橋町	550	大正8年3月12日
470	個人	鹿野利善造	小橋町	40	大正8年3月17日
471	個人	渋川政吉	小橋町	35	大正8年3月17日
472	個人	中村元吉	小橋町※	25	大正8年3月17日
473	個人	長崎喜見造	小橋町	25	大正8年3月17日
474	個人	工藤森之助	小橋町	375	大正8年2月7日
475	個人	山川文治郎	小橋町	55	大正8年3月16日
476	個人	矢野善助	小橋町	125	大正8年3月17日
477	個人	藤井傳六	小橋町	500	大正8年2月7日
478	個人	小松久兵エ	小橋町	60	大正8年3月17日
479	個人	三上寿松	小橋町	100	大正8年2月7日
480	個人	森谷治兵衛	小橋町	35	大正8年3月24日

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

仮番	属性	氏名	住所	金額	申込日
481	個人	鈴木利三郎	小橋町	50	大正8年3月17日
482	個人	稲舟新三郎	肴町	55	大正8年3月31日
483	個人	新関善八	肴町	6500	大正8年2月21日
484	個人	新関善四郎	肴町	55	大正8年3月27日
485	個人	岡田吉五郎	肴町	45	大正8年3月16日
486	個人	岡田平次郎	肴町	40	大正8年3月19日
487	個人	岡田祐作	肴町	125	大正8年2月17日
488	個人	渡辺岩藏	肴町	45	大正8年3月16日
489	個人	海和要五郎	肴町	100	大正8年2月19日
490	個人	鹿野小作	肴町	70	大正8年3月16日
491	個人	鹿野治右衛門	肴町	70	大正8年3月19日
492	個人	鹿野武兵衛	肴町	25	大正8年3月26日
493	個人	高嶋清五郎	肴町※	1300	大正8年1月25日
494	個人	高嶋将文	肴町	35	大正8年3月16日
495	個人	武田市兵衛	肴町	125	大正8年2月17日
496	個人	玉井五兵衛	肴町	25	大正8年3月16日
497	個人	名木橋徳治	肴町	50	大正8年3月27日
498	個人	船山源次郎	肴町	40	大正8年3月16日
499	個人	安島佐五兵衛	肴町	550	大正8年2月15日
500	個人	酒井キリ	肴町※	35	大正8年3月16日
501	個人	鈴木喜三郎	肴町	100	大正8年2月19日
502	個人	鈴木庄太郎	肴町	35	大正8年3月22日
503	個人	鈴木伊之吉	肴町	45	大正8年3月18日
504	個人	五十嵐七兵衛	下条町	500	大正8年2月17日
505	個人	五十嵐喜兵衛	下条町	35	大正8年3月16日
506	個人	五十嵐長八	下条町	60	大正8年3月27日
507	個人	五十嵐マサエ	下条町	300	大正8年2月25日
508	個人	五十嵐伊介	下条町	200	大正8年2月21日
509	個人	飯野傳作	下条町	55	大正8年3月26日
510	個人	半澤平吉	下条町※	70	大正8年3月16日
511	個人	大山為吉	下条町	30	大正8年3月16日
512	個人	大築卯藏	下条町	80	大正8年2月20日
513	個人	大築勘左衛門	下条町	700	大正8年3月17日
514	個人	大山長九郎	下条町	80	大正8年2月21日
515	個人	大築重治郎	下条町	50	大正8年3月22日
516	個人	岡嶋藤次郎	下条町	70	大正8年3月19日
517	個人	加藤長五郎	下条町	60	大正8年3月23日
518	個人	神保與六	下条町	55	大正8年3月17日
519	個人	神保甚左衛門	下条町	40	大正8年3月16日
520	個人	神尾為次郎	下条町	500	大正8年2月25日
521	個人	高木又兵衛	下条町	700	大正8年2月19日
522	個人	高木中右衛門	下条町	25	大正8年3月29日
523	個人	武田市十郎	下条町	60	大正8年3月16日
524	個人	高木又助	下条町	70	大正8年3月16日
525	個人	永野紋三郎	下条町	80	大正8年2月18日
526	個人	永野詢吉	下条町	70	大正8年3月16日
527	個人	山川要右衛門	下条町	55	大正8年3月25日
528	個人	黒沼作右衛門	下条町	20	大正8年3月29日
529	個人	栗村傳右エ門	下条町	80	大正8年2月20日
530	個人	安藤作蔵	下条町	25	大正8年3月16日
531	個人	安藤與平治	下条町	60	大正8年3月17日
532	個人	佐々木長右衛門	下条町	80	大正8年4月1日
533	個人	佐々木喜作	下条町	45	大正8年3月23日
534	個人	齋藤暢甫	下条町	45	大正8年3月16日
535	個人	斉藤善吉	下条町	25	大正8年3月16日
536	個人	木本庄吉	下条町	25	大正8年3月16日
537	個人	木村庄右衛門	下条町	55	大正8年3月18日
538	個人	洪江武右エ門	下条町	60	大正8年3月30日
539	個人	森谷孫四郎	下条町	50	大正8年3月17日
540	個人	鈴木惣治郎	下条町	35	大正8年3月16日
541	個人	工藤定治	下条町	40	大正8年3月17日
542	個人	岡田法順	皆川町	125	大正8年3月12日
543	個人	川村庄右衛門	皆川町	40	大正8年3月22日
544	個人	船山半右衛門	皆川町	70	大正8年3月24日
545	個人	齋藤龍五郎	皆川町	70	大正8年3月17日
546	個人	佐藤六兵衛	皆川町	60	大正8年3月17日
547	個人	齋藤長治郎	皆川町	25	大正8年3月17日
548	個人	斎藤兵作	皆川町	40	大正8年3月17日
549	個人	斎藤金五郎	皆川町	45	大正8年3月22日
550	個人	斎藤才太郎	皆川町	35	大正8年3月23日
551	個人	井上長六	宮町	70	大正8年3月21日
552	個人	五十嵐文次郎	宮町	80	大正8年2月17日
553	個人	岩田伴助	円鷹寺町	60	大正8年3月31日
554	個人	岩田己助	宮町	45	大正8年3月25日
555	個人	岩田藤吉	宮町	200	大正8年2月8日
556	個人	伊藤茂七	宮町	25	大正8年3月11日
557	個人	石澤文吉	宮町	25	大正8年3月11日
558	個人	長谷川長次郎	宮町	70	大正8年3月11日
559	個人	長谷川庄作	宮町	25	大正8年3月11日
560	個人	芳賀栄吉	宮町	50	大正8年3月9日

仮番	属性	氏名	住所	金額	申込日
561	個人	長谷川栄作	宮町	25	大正8年3月11日
562	個人	羽角権太郎	宮町	55	大正8年3月11日
563	個人	長谷川長吉	宮町	375	大正8年2月18日
564	個人	新関市助	宮町	200	大正8年2月14日
565	個人	大内徳藏	宮町	40	大正8年3月28日
566	個人	鬼澤市之助	宮町	45	大正8年3月28日
567	個人	小川右吉	宮町	25	大正8年3月21日
568	個人	小山未吉	宮町	80	大正8年2月27日
569	個人	小山伏兵衛	宮町	80	大正8年2月27日
570	個人	尾形金兵衛	宮町	25	大正8年3月21日
571	個人	加藤弥市	宮町	35	大正8年3月21日
572	個人	芥谷定吉	宮町	200	大正8年2月15日
573	個人	高橋まさ	宮町	45	大正8年3月11日
574	個人	高橋円藏	宮町	50	大正8年3月11日
575	個人	高橋寅吉	薬師町	25	大正8年3月17日
576	個人	高橋伊之助	宮町	1600	大正8年2月14日
577	個人	高橋吉次郎	宮町	55	大正8年3月6日
578	個人	田中新三郎	宮町	80	大正8年3月17日
579	個人	田中善四郎	宮町	55	大正8年4月1日
580	個人	田中満之助	宮町	50	大正8年3月19日
581	個人	田中勇太郎	宮町※	25	大正8年3月21日
582	個人	田中勇作	宮町	40	大正8年3月25日
583	個人	丹野松五郎	宮町	25	大正8年3月11日
584	個人	高山信	宮町	25	大正8年3月21日
585	個人	長岡明太郎	宮町	25	大正8年3月21日
586	個人	中野左馬之助	宮町	40	大正8年3月29日
587	個人	宇野入松	宮町	50	大正8年3月25日
588	個人	工藤儀輔	宮町	25	大正8年3月9日
589	個人	工藤留吉	宮町	140	大正8年2月15日
590	個人	工藤吉蔵	宮町	25	大正8年3月21日
591	個人	工藤作太郎	宮町	40	大正8年3月21日
592	個人	草刈定五郎	宮町	100	大正8年3月28日
593	個人	山岸利平治	宮町	25	大正8年3月25日
594	個人	山口権三郎	薬師町	40	大正8年3月9日
595	個人	松澤太造	宮町※	300	大正8年3月11日
596	個人	松田行之	宮町	35	大正8年3月11日
597	個人	真壁清七	宮町	45	大正8年3月11日
598	個人	船山猪太郎	宮町	70	大正8年3月21日
599	個人	小松武助	宮町	45	大正8年3月21日
600	個人	後藤守浩	宮町	40	大正8年3月11日
601	個人	會田弥兵衛	宮町	70	大正8年3月16日
602	個人	佐藤助治	宮町	55	大正8年3月27日
603	個人	佐藤倉治	宮町	25	大正8年3月9日
604	個人	齋藤宗右衛門	宮町	45	大正8年3月9日
605	個人	齋藤安兵衛	宮町	80	大正8年2月27日
606	個人	櫻井官十郎	宮町	375	大正8年2月14日
607	個人	櫻井源助	宮町	200	大正8年2月17日
608	個人	櫻井源右衛門	宮町	550	大正8年2月15日
609	個人	板井仲蔵	宮町	500	大正8年2月4日
610	個人	三浦辰造	宮町	25	大正8年3月9日
611	個人	宮地肇	宮町	300	大正8年3月11日
612	個人	柴崎吉兵衛	宮町	50	大正8年3月8日
613	個人	柴田権三郎	宮町	45	大正8年3月9日
614	個人	樋口儀蔵	宮町	55	大正8年3月9日
615	個人	逸見朋三郎	宮町	70	大正8年3月20日
616	個人	鈴木円光	宮町	60	大正8年3月21日
617	個人	杉山登	宮町	550	大正8年2月26日
618	個人	長谷川長吉	銅町	200	大正8年2月21日
619	個人	長谷川長兵衛	銅町	125	大正8年2月17日
620	個人	長谷川源七	銅町	70	大正8年3月11日
621	個人	長谷川貞治	銅町	25	大正8年3月26日
622	個人	渡辺利八	銅町	45	大正8年3月11日
623	個人	武田吉蔵	銅町	25	大正8年3月26日
624	個人	松田長吉	銅町	25	大正8年3月11日
625	個人	菊池熊治	銅町	45	大正8年3月11日
626	個人	長谷川平内	東置賜郡屋代村	1500	大正8年1月31日
627	個人	齋藤知二	東京市本郷区駒込曙町	100	大正8年4月4日
628	個人	依田竹三郎	東京府南葛飾郡隅田村	300	大正8年4月1日
629	個人	野田真吉	兵庫県武庫郡六甲市高村	1000	大正8年3月14日
630	個人	駒谷亀之助	東京市日本橋区坂本町	200	大正8年3月30日
631	個人	笠原定蔵	北海道旭川区一条通	300	大正8年4月2日
632	個人	前田雄次郎	兵庫県武庫郡須磨町	200	大正8年4月14日
633	個人	鹿野寅松	肴町	45	大正8年4月5日
634	個人	宮地貞一	香澄町	30	大正8年5月15日
635	個人	佐伯美津留	東京市麻布区霞町	100	大正8年5月3日
636	個人	田島晴雄	東京市芝区烏森町	100	大正8年5月4日
637	個人	日下部芳之助	小姓町	40	大正8年6月9日
638	個人	佐伯正悌	東京市牛込区富久町	100	大正8年6月13日
639	団体	両羽銀行	七日町	9500	大正7年
640	団体	株式会社両羽農工銀行	七日町※	1750	大正8年6月11日

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

仮番	属性	氏名	住所	金額	申込日
641	団体	両羽製氷株式会社	香澄町	150	大正8年
642	団体	羽前炭鉱株式会社	香澄町	150	大正8年
643	団体	両羽演藝株式会社	七日町	50	大正8年4月
644	団体	山形電気株式会社	横町	10000	大正8年5月3日
645	団体	山形商業銀行	十日町※	1000	大正8年6月10日
646	団体	安田銀行	旅籠町	1000	大正8年6月
647	団体	山形銀行	三日町	700	大正8年
648	団体	山形殖産無尽株式会社	十日町	400	大正8年
649	団体	山形酒造株式会社	諏訪町※	300	大正8年6月13日
650	団体	株式会社山形魚市場	桶町	200	－
651	団体	山形瓦斯株式会社	香澄町	150	大正8年
652	団体	山形米穀肥料株式会社	六日町	150	大正8年4月16日
653	団体	山形銅鉄株式会社	鍛冶町※	150	大正8年4月
654	団体	合資会社山形倉庫	香澄町	150	大正8年6月13日
655	団体	山形通送株式会社	香澄町	100	大正8年4月14日
656	団体	山形玉糸株式会社	香澄町	100	－
657	団体	山形商業倉庫株式会社	香澄町	100	－
658	団体	株式会社山形魚問屋	香澄町	100	大正8年
659	団体	山形正米株式会社	香澄町	100	大正8年6月20日
660	団体	山形運輸株式会社	横町※	50	大正8年6月
661	団体	山形商事株式会社	宮町	50	大正8年6月21日
662	団体	丸共水産株式会社	山形市	200	大正8年6月9日
663	団体	合名会社三浦銀行	七日町※	1000	大正8年6月13日
664	団体	合資会社坂野運送店	山形駅前	50	－
665	個人	間瀬宗幸	香澄町	25	大正8年7月14日
666	個人	菊池ウメ	小姓町	25	大正8年9月3日
667	個人	細谷重吉	小姓町※	25	大正8年9月3日
668	個人	大久保傳蔵	小姓町	25	大正8年3月31日

※典拠＝『大正八年 高等学校設備寄附申込書 山形市役所』（ふすま同窓会所蔵）。住所の※は推定、町名以下は省略した。

令和7年（2025年）4月10日

グリーミンワイユー（構内清掃チーム）が活動開始 ～チームロゴマークは学生によるデザイン～

【本件のポイント】

- 障がいのある方々が意欲を持って楽しみながら働くことができる職場づくりを目的として、「グリーミンワイユー（構内清掃チーム）」が令和7年4月から本格的に活動しています。
- 教育研究機関である大学の特色を生かして、地域企業等での就労を目指したOJTプログラムの形成とマッチングシステムの確立のための研究を行い、山形県内の障がいのある方々の働く環境の改善に寄与することを期待しています。
- スタートに当たって、チームを象徴するロゴマークを本学で美術を専攻する学生3名が製作してくれました。グリーミンワイユーのユニフォームなどに使用しています。
- 山形大学では、今後も障がいのある方の雇用を推進いたします。



【概要】

令和7年3月から準備を開始し、4月から本格的な活動を開始したグリーミンワイユーは、障がいのある方々が意欲を持って楽しみながら働くことができる職場づくりを目的としています。実際に、知的障害、精神障害、発達障害、身体障害など様々な障がいをお持ちの方々からチームに加わっていただき、大学内の清掃や環境整備などの活動を行っています。

チームの名称である「グリーミンワイユー」の由来は、きらりと光るという意味の英語“**Gleaming**”（グリーミング）と山形大学の英語表記の頭文字“**Y**amagata **U**niversity”（ワイユー）を取って、大学がピカピカになるように、そしてチームが自分たちの活動に誇りを持ってきらりと光る存在になってもらえるようにと名付けました。

また、チームとしての一体感や自覚を持ってもらうために、チームを象徴するロゴマークを作りたいと考え、そのデザインを地域教育文化学部でアートやデザインを専門とする具志堅裕介講師とその研究室の学生3名に依頼し、チームのイメージを見事に表したデザインが完成しました。現在、そのロゴマークを付けたユニフォームを着て活動を行っています。

【背景】

- ・近年は事務補助業務を中心に障がいをお持ちの方の募集を行ってきましたが、さらに、障がいをお持ちの方の雇用を推進するため、山形市役所や東北大学など積極的な取組を行っている機関に学び、清掃や環境整備などの軽作業を行うチームの設置を計画いたしました。ハローワークやまがた、（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構山形支部山形障害者職業センター、県内の特別支援教育を実施する教育機関、各就労支援機関及び本学附属特別支援学校等、学内外の各機関からのご指導を得ながら、職場見学会や職場実習等を実施し、チームの設置準備とそのメンバーとなっていたいただける方々の募集を行ってきました。

【活動内容】

- ・令和7年4月1日時点で、グリーミンワイユーでは実際に清掃等の活動を行う職員（クルー）5名、ジョブコーチ・サポーターなど指導・支援を行う職員3名及び活動に関する事務的な支援を行う職員1名の計9名が勤務しています。
- ・具体的には、体育館の床清掃、建物（法人本部棟）内の事務室・お手洗い・水場の清掃やゴミ回収、廃棄する書類の回収・分別・裁断などを行っています。今後、屋外環境整備等も行うことにしております。



（給湯室の清掃）



（可燃物等の回収）



（各種行事の支援（入学式資料袋詰め）

【ロゴマークデザイン】

- ・ロゴマークは、本学地域教育文化学部の具志堅裕介講師とその研究室でアートやデザインを学ぶ学生3名（地域教育文化学部4年 大野 綾華さん、遠藤 紬さん、山田 和沙さん）が「グリーミンワイユーの皆さんが自信と誇りを持って仕事に取り組むことができるように」という想いを込めてデザインしました。

【今後の展望】

- ・ロゴマークとユニフォームそして実際の活動を通じて、学生や教職員に広く認知、感謝され、山形大学にとってなくてはならないチームとなること、そしてグリーミンワイユーで働く方々に誇りを持って働いていただける職場となることを目指します。
- ・今後も職場見学会や職場実習を随時開催し、チームのメンバーを募集していきます。将来的には小白川キャンパス以外のキャンパスでも活動を開始することにしております。

お問い合わせ

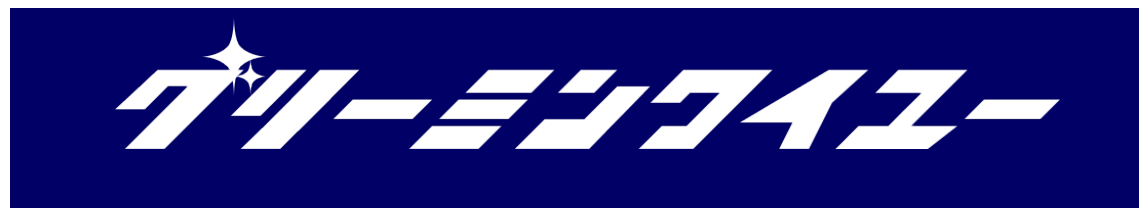
総務部人事課（グリーミンワイユー担当／人事担当） 矢口、小松、佐藤

TEL 023-628-4039／4023 メール yu-sjinin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

1. ロゴマーク



2. ロゴマーク（テキストのみ）



3. シンボルマーク



4. ユニフォームイメージ



令和7年（2025年）4月10日

朝活応援プロジェクト100の実施について

【本件のポイント】

「朝活応援プロジェクト100」は、人文社会科学部副学部長の中村文子教授が、人間関係や経済的な悩みを抱える学生が増えているのとは感じ、学生のために何か支援できることはないかと考え、学生支援担当の伊藤理事に相談し、本学教職員からアドバイスをもらいながら、山形大学生協、山形大学基金との打合せを重ね実現したプロジェクトです。

●朝活応援プロジェクト100を実施することにより期待される効果

1) 学生への効果

- ・経済的な支援となり、食費の負担が軽減。
- ・朝食を摂る習慣がつき、生活リズムが整うことにより、心身の健康の向上、授業への集中力の向上が期待できる。
- ・学生間の交流の場としての役割を果たし、大学生活の満足度が向上。

2) 大学への効果

- ・朝早くから大学に足を運ぶ学生が増え、授業出席率や図書館の利用率の向上が期待される。
- ・他大学との差異化要因となり、魅力的なキャンパス環境を提供できる。

【概要】

近年、学生を取り巻く経済的状況は厳しさを増している。とくに、米や野菜といった食料をはじめとする物価上昇は学生生活に直接影響を及ぼしており、これまで以上に学生への支援が必要な状況である。

また、多くの学生が朝食を摂らずに生活している現状が見られ、2022年の「大学生食生活実態調査」によると、全国の大学生の約40%が朝食を摂る習慣がない。大学生の朝食欠食習慣は、生活リズムの乱れと関連し、心身の健康に悪影響を与え、学業成績や集中力の低下といった問題も懸念されることから、規則的な生活リズムを確立すること、それにより健康的で充実した学生生活の基盤を築いてもらうことが大学としての重要な課題である。そこで、安価に朝食（白米、みそ汁、魚、小鉢）を提供することにより栄養を摂ってもらうと同時に、朝食で規則的な生活リズムを確率してもらうことを目的に、「朝活応援プロジェクト100」を企画した（「100」は100円を表している）。

全国的に「100円朝食」を導入する大学は増えており、立命館大学の調査によると「100円朝食」を利用することで朝食摂取率の向上、図書館の利用率の向上（勉強意欲の向上）、生活リズムの改善に貢献していることが確認されている。本企画では、これらの成功例を参考にしながら、本学の学生が経済的不安や心身の健康の不安から解放されて、より生き活きと学生生活を送れるように支援することを目指す。

さらに、今回は山形大学基金からの支援により期間限定で開催するが、学生の利用状況やニーズを見て、今後は地域社会（地域企業など）とも連携して展開していきたい。



山形大学
朝活応援プロジェクト100

期間：2025年4月17日（木）～5月9日（金）
時間：8:00～8:30
場所：大学生協食堂テール

新入生を対象に、新企画「100円朝食」がスタートします！
生活リズムを整え、学生生活をより豊かにしていくことを目的としています。

山形大学生協の協力のもと、山形大学基金からのご支援により、期間中の平日に
100円で朝食が食べられます。（先着150名まで）

◆企画内容
対象学生：令和7年度 各学部・学環の新入生
提供場所：大学生協食堂（建物番号：A9）
提供時間：平日午前8時～8時30分
提供方法：食数限定150食、100円（朝食）を提供
提供期間：4月17日（木）～5月9日（金）の平日のみ14日間

◆朝食内容 主菜、副菜、白米、みそ汁
◆支払いは生協マネー（コアリ、ミールカード）又は現金です
※お釣りのないようにご準備ください

朝食は一日のエネルギー源！
朝食で脳を活性化させて集中力を高めよう！

主催：山形大学
担当：学生支援課 023-628-4840

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【実施方法】

提供場所：大学生協食堂テール

提供時間：平日午前8時～8時30分

提供方法：食数限定150食、100円で朝食を提供（150食を超えた分はパン等を100円で提供予定）

実施期間：4月17日（木）～5月9日（金）の平日のみ14日間

【今後の展望】

今回は小白川キャンパスの令和7年度新入生を対象として実施するが、山形大学全キャンパスの学生対象に広げていくことを目標としている。※当日、学生証を提示してもらいます。

お問い合わせ

エンロールメント・マネジメント部学生支援課（齋藤）

TEL 023-628-4840 メール yu-gakumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和7年（2025年）4月10日

「山形大学教育改革グランドデザイン2030」を策定

【本件のポイント】

- 2030年を目処に強靱で持続可能な大学への転換を目指すため「山形大学教育改革グランドデザイン2030～つなぐちから、ひろがるミライ～」を策定
- 本学でしか実現できない魅力的な学位プログラムの創出を目指す“教育の質改革”と、教育研究を実施・支援する組織運営体制の強化を目指す“教育推進の経営改革”を一体的に推進
- 3つの戦略的重点領域、41項目のアクションプランを定め、2030年までに着実に実行していく



【概要】

山形大学は、6学部1学環・6研究科を有する総合大学で、1949年の新制国立大学設置以来、地域に貢献しながら優れた人材を輩出してきました。「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」の3つを使命とし、2022年度には「つなぐちから。山形大学」を将来ビジョンとして掲げ、地域と共に発展する大学を目指しています。

現在、日本の高等教育は転換期を迎えており、急速な少子化等を踏まえた高等教育全体の規模の適正化とアクセス確保、教育研究の質の向上による知の総和の拡大が求められています。特に東北地方・山形県では人口減少が深刻であり、少子高齢化、生産年齢人口の減少、若年層の流出などの課題に対応するため、社会経済体制の変革が必要となっています。

本学は、3つの戦略的重点領域を設定するとともに、本学でしか実現できない魅力的な学位プログラムの創出を目指す“教育の質改革”と、教育研究を実施・支援する組織運営体制の強化を目指す“教育推進の経営改革”を一体的に推進するため、「山形大学教育改革グランドデザイン2030～つなぐちから、ひろがるミライ～」を策定しました。グランドデザインでは、41項目のアクションプランを定め、実現に向けて改革に取り組みます。2030年を目処に、大学と地域における「知」「人」「資源」の好循環を生み出し、人口減少・経済縮小の時代を乗り越える、強靱で持続可能な大学への転換を目指します。

【戦略的重点領域】

- ① 山形で学び、世界へ：大学独自の学問と教育の深化
- ② 「地方」から未来を創る：地方課題解決型の実践的教育の推進
- ③ 山形・東北とともに歩む：地域の未来を支える学問と人材育成

【アクションプラン】

- ① 教育組織の再編（3項目）
- ② 学位プログラムの再編（8項目）
- ③ 教育推進・質保証（3項目）
- ④ 入試・学生支援（7項目）
- ⑤ 組織・人事制度（6項目）
- ⑥ 会計制度・情報発信（4項目）
- ⑦ 教育を支える基盤（7項目）
- ⑧ 教育環境（3項目）

※詳細はグランドデザイン本文・説明資料をご参照ください。

【今後の展望】

本グランドデザインにより、地域との共創を通じた人材育成を推進し、地域における社会経済体制の変革を支える人材を輩出するとともに、大学と地域の持続的発展に寄与することが期待されます。

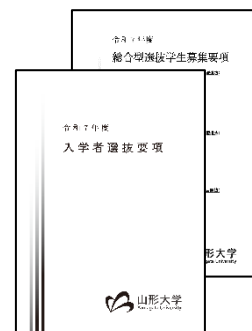
（お問い合わせ）【受付時間】平日 8:30～17:00
企画・戦略室長 内藤
TEL 023-628-4190
メール yu-kikair@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和7年4月10日

令和8年度山形大学入学者選抜 総合型選抜における 女子枠の創設について

【本件のポイント】

- 山形大学では、令和8年度入学者選抜（令和7年度実施）から、工学部フレックスコースの総合型選抜Ⅰにおいて、女性を対象とする「女子枠」を創設します。
- 女子枠の募集人員は、「システム創成工学科」3人となる予定です。最終的な募集人員及び詳細については、令和7年6月に公表予定の「令和8年度入学者選抜要項」及び令和7年7月に公表予定の「令和8年度総合型選抜学生募集要項」で公表予定です。



【概要】

本学では、これからの社会のイノベーションや維持発展に必要とされる理工系人材の育成に取り組んでいます。我が国がこれからも国際社会において科学技術で重要な役割を果たすためには、理工系においても優秀で、かつ多様な人材を育成することが期待されています。しかしながら、大学の理工系学部における入学者は男性が多い状況にあり、多様性に欠けるとの指摘があります。本学においては、近年、漸増しているものの特に工学部での女性の入学者の割合が低い現状にあります。

社会のイノベーション創出においてさらに女性の活躍は必要不可欠であり、女性が積極的に進学しやすい環境を整えることが重要であることから、本学では工学部の入学者選抜に女子枠を導入します。今後、さらに大学における多様性を向上させるとともに、大学院においても進学しやすい環境を促進することで高度人材の育成に引き続き取り組みます。

これらの取組により、女性の研究者やエンジニアを育成し、多様な視点から社会システムや専攻分野の知識や技能を理解することで創造性を相互に高め、従来にはない目線で社会的な課題を多面的に解決、価値創造に貢献できる人材の育成が期待されます。

なお、この枠組みは、女性の理工学分野への参加の機会を奨励するためのものであり、男子学生の機会を制限するものではありません。本学は、ジェンダーに関係なく、それぞれの学生が自身の資質能力と興味関心に応じて学べる環境を提供していきます。

【求める学生像】

- ・最先端のものづくり産業で活躍することで、地域社会や国際社会に貢献したい人
- ・工学への強い興味を持ち、自己研鑽に励むことで、自らを高めようという意欲のある人
- ・柔軟な広い視野を備え、新しいことに挑戦するプロフェッショナルとしての社会人を目指す人
- ・将来、ものづくり企業で管理職や経営者として活躍したいと考えている人
- ・数学・物理・語学等の基礎学力をバランス良く持っている人
- ・学業以外の部活動やボランティア活動等に積極的に参加している人
- ・バイタリティにあふれ、科学技術の分野で夢や希望を持っている人

裏面に続く

【出願要件】

次のすべての資格・要件を満たす女子

※「女子」は戸籍上における性別「女」を対象とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を令和8年3月修了見込みの者
- (2) 合格した場合、入学することを確約できる者

【令和8年度山形大学入学選抜における学力検査実施教科・科目等】

学部(学科, コース)名	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		備 考
		教科	科 目 名 等	教科等	科 目 名 等	
工学部 フレックスコース	システム創成工学科	前期日程	国 地歴 公民 教 『国語』 『地理総合, 地理探究』, 『歴史総合, 日本史探究』, 『歴史総合, 世界史探究』, 『地理総合/歴史総合/公共』 『公共, 倫理』, 『公共, 政治・経済』 『数学Ⅰ, 数学A』, 『数学Ⅰ』から1 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 『物理』, 『化学』, 『生物』から2 『英語』(リスニングを含みます。) 『情報Ⅰ』 } から1 (6教科8科目)	教 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物, 化基・化から1	数Aの仕題範囲: 「図形の性質」, 「場合の数と確率」 数Bの仕題範囲: 「数列」, 「統計的推測」 数Cの仕題範囲: 「ベクトル」, 「平面上の曲線と複素数平面」
		後期日程	理 外 情報	その他	小論文	
		学校推薦型選抜Ⅰ	課しません	その他	面接(口頭試問を含みます。)	
		総合型選抜Ⅰ (一般枠)	課しません	その他	第1次選抜: 書類選抜 第2次選抜: 面接(口頭試問を含みます。)	
		総合型選抜Ⅰ (女子枠)	課しません	その他	第1次選抜: 書類選抜 第2次選抜: 面接(口頭試問を含みます。)	女子枠では、特に「エンジニアもしくは研究者になりたい理由」についても評価します。
		社会人入試	課しません	その他	面接(口頭試問を含みます。)	

令和8年度入学選抜における教科・科目等につきましては、次のページをご覧ください。

○令和8年度山形大学入学選抜における学力検査実施教科・科目等

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/files/6717/4415/5281/2026kamoku.pdf>

○令和8年度山形大学入学選抜 大学入学共通テスト受験教科・科目表

https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/files/2117/3943/5654/2026kamoku_kyotsuv3.pdf

お問合せ先

山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課
TEL 023-628-4140

令和7年(2025年)4月10日

山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 東日本重粒子センターがオンラインセミナーを開催～難治がんに挑む山形大学の重粒子線治療～

2022年10月の東日本重粒子センター本格稼働から3年半が経過し、累積患者数は2025年3月末時点で2,235名に達しております。重粒子線治療が患者さんにとってがん治療の選択肢の一つとなり、治療の選択の幅が広がればと一般の方向けにオンラインセミナー（Zoom ライブ配信）を企画しました。参加費は無料です。重粒子線治療とは何かを知っていただく機会となれば幸いです。

【開催概要】

日時：令和7年5月22日（木）18:00～19:00 終了予定

会場：オンライン（Zoom ライブ配信）※定員は1,000人

参加費：無料 対象：一般 プログラム：テーマ『難治がんに挑む山形大学の重粒子線治療』

2. 初の「山形大学入学記念キャンペーン」を実施～本学学生へのご支援をお願いします～

山形大学基金では、学生の皆さんが充実した生活を送れるよう様々な支援を行っております。本学の学生が修学・課外活動に精一杯取り組むことができるよう本学基金へ心温まるご寄付をどうぞよろしくお願いいたします。

3. 高性能で軽量な変化検知技術を開発しました～人工知能分野トップ国際会議 AAAI に採択された技術！～

山形大学とアズビル金門株式会社の共同研究チームによる研究成果に関する発表です。

4. 調湿環境の下で深い傷を引き攣れなく早く治し、傷と癒着しない多糖製結晶質創傷被覆膜を初めて開発～砂糖の主成分（ショ糖）を含ませることで、さらに速く傷が治る～

学術研究院（生体機能修復学）／理工学研究科（化学・バイオ分野担当）山本 修 教授の研究に関する発表です。

5. 大阪・関西万博 EARTHMART に古川研究室が出展協力します！～「未来のフロア」にある、「進化する冷凍食」に低温凍結粉碎含水ゲル粉末～

学術研究院／理工学研究科（機械システム工学専攻）古川 英光 教授が大阪・関西万博へ出展協力します。

6. そばあと from 戸沢村

「山形大学チャレンジプロジェクト」を利用し、山形県最上郡戸沢村の特産品のそばの実を用いたジェラードを製品化しました。

PRESS RELEASE



山形大学
Yamagata University

令和7年（2025年）4月10日

東日本重粒子センターがオンラインセミナーを開催 ～難治がんに挑む山形大学の重粒子線治療～

【本件のポイント】

- 2022年10月の本格稼働から3年半が経過し、累積患者数は2025年3月末時点で2,235名に達しております。
- 治療センター長の小藤昌志と副センター長の元井冬彦が講師を務め、最新の重粒子線がん治療や治療実績等について解説いたします。

【概要】

本センターでは、重粒子線治療が患者さんにとってがん治療の選択肢の一つとなり、治療の選択の幅が広がればと一般の方向けにオンラインセミナー（Zoom ライブ配信）を企画しました。参加費は無料です。重粒子線治療とは何かを知っていただく機会となれば幸いです。

当センター主催のオンラインセミナーとしては2年ぶり2度目の開催です。今後は年1回のペースで開催予定です。

【開催概要】

日 時：令和7年5月22日（木）18:00～19:00 終了予定

会 場：オンライン（Zoom ライブ配信）※定員は1,000人

参加費：無料

対 象：一般

プログラム

テーマ『難治がんに挑む山形大学の重粒子線治療』

▽司会 岩井岳夫（山形大学医学部重粒子線医学講座教授・東日本重粒子センター長）

18:00～18:05 【開会挨拶】岩井センター長

18:05～18:10 【プロモーションビデオ（約5分）上映】

18:10～18:35（25分）

【第1部】「東北地方のがん医療を支える最新の重粒子線治療」

▽講師 小藤昌志（山形大学医学部放射線医学（放射線腫瘍学分野）講座教授・重粒子線治療センター長）

18:35～19:00（25分）

【第2部】「臓器がんに対する重粒子線治療と外科手術のコラボレーション」

▽講師 元井冬彦（山形大学医学部外科学第一講座教授・東日本重粒子センター副センター長）

【申込方法】

下記の応募フォームからお申込みください。

URL：<https://forms.gle/oa5qSF7XyCBQhAWv6>

申込締切：5月18日（日）まで



申込者には、本セミナー参加に必要な情報を、開催日の前日までにメールでお伝えします。

お問い合わせ

山形大学医学部東日本重粒子センター事務室

TEL：023-628-5576

e-mail：yu-heavyion@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

URL：<https://www.id.yamagata-u.ac.jp/nhpb/>

難治がんに挑む 山形大学の重粒子線治療



山形大学医学部附属病院重粒子線治療センター長
小藤 昌志

山形大学医学部東日本重粒子センター副センター長
元井 冬彦

2025 年

日時

5月22日(木)

18時～19時 (ZOOMライブ配信)

参加費 **無料**

申込は5月18日(日)まで

ご挨拶

18:00～18:05 岩井 岳夫

山形大学医学部東日本重粒子センター長

山形大学大学院医学系研究科先進的医科学専攻 重粒子線医学講座教授

18:05～18:10

山形大学医学部東日本重粒子センター紹介

プロモーションビデオの上映

第1部

18:10～18:35

「東北地方のがん医療を支える最新の重粒子線治療」

講師／ 小藤 昌志

山形大学医学部附属病院重粒子線治療センター長

山形大学大学院医学系研究科医学専攻 放射線医学(放射線腫瘍学分野) 講座教授

第2部

18:35～19:00

「膵臓がんに対する重粒子線治療と
外科手術のコラボレーション」

講師／ 元井 冬彦

山形大学医学部東日本重粒子センター副センター長

山形大学大学院医学系研究科医学専攻 外科学第一講座教授



山形大学医学部

東日本重粒子センター TEL:023-628-5576

山形大学医学部附属病院

〒990-9585 山形県山形市飯田西2-2-2

ホームページ

東日本重粒子センター 検索

URL:<https://www.id.yamagata-u.ac.jp/nhpb/>
(参加申し込みはこちらから)



令和7年（2025年）4月10日

初の「山形大学入学記念キャンペーン」を実施 ～本学学生へのご支援をお願いします～

【本件のポイント】

- 山形大学基金では「経済的修学困難学生への支援」・「大学公認サークルへの支援」の2事業を立ち上げ、山形大学の支援者から寄付を募っている。
- 物価高騰のあおりを受け、経済状況が厳しさを増す中で、積極的に修学や課外活動を行っている学生に対して大学からの支援強化を行いたい。
- これから大学へ入学する新入生達が不安なく修学・課外活動に取り組めるよう温かいご寄付をお願いしたい。

山形大学に寄附をお考えの方
山形大学基金

【概要】

山形大学基金では、「経済的修学困難学生への支援」・「大学公認サークルへの支援」の2事業を立ち上げ、山形大学の支援者から寄付を募り、これまで多くの学生を支援して参りました。

現在、物価高騰のあおりを受け、本学で学ぶ学生の経済状況が厳しさを増す中で、本学として、より一層の支援拡充を行いたいと考えています。

そのため、4月に入学する新入生並びに在学学生が、不安なく修学・課外活動を行う環境を整えるとともに、「山形大学に入学して良かった」と一層実感いただけるよう、初めて山形大学基金「入学記念キャンペーン2025」を実施します。（令和7年4月1日から令和7年5月31日）

いただいたご寄付は学生の修学並びに課外活動のために大切に使用させていただきます。

また、山形大学基金では以下の事業についても、寄付を賜っております。

- ・障がいのある学生等への支援
- ・山形大学運営全般への支援
- ・学部等への支援
- ・附属学校（園）への支援
- ・やまだいみらいへつなぐプロジェクト『地域の記憶「共創」アーカイブ』

この機会に、この趣旨に賛同いただける多くの皆様から暖かいご寄付を賜れますと幸いです。

※1 キャンペーン期間中に一括で10万円以上ご寄付いただいた方へ本学オリジナルの箸を記念品として贈呈いたします。

※2 HPはコチラ→<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/information/2025040101/>



【今後の展望】

国立大学の経営が厳しさを増す中、各国立大学では財源の多様化を図るため、様々な取り組みを実施しています。山形大学がこれまで同様に教育・研究・社会共創活動を継続・発展していくため、「山形大学基金」は従前以上に重要性が増しており、本学を運営する上でなくてはならない存在となりました。

新型コロナウイルス・人工知能（AI）などの先端技術・ウクライナ・パレスチナ問題といった予測困難で不確実な時代に、山形大学は今後も教育・研究・社会共創活動を発展的に継続して、山形県内にとどまらず、日本・世界へ貢献して参ります。

お問い合わせ

総務部総務課社会共創推進事務室（山形大学基金担当）田苗・長沼

TEL 023-628-4497 メール yu-kikin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学基金 入学記念キャンペーン2025

令和7年4月1日から令和7年5月31日まで

この度は、山形大学へのご入学おめでとうございます。

山形大学基金では、学生の皆さんが充実した生活を送れるよう様々な支援を行っております。

本学の学生が修学・課外活動に精一杯取り組むことができるよう本学基金へ心温まるご寄付をどうぞよろしくお願いいたします。

本キャンペーン期間中に一括で
10万円以上のご寄付をいただいた方へ、本学オリジナルの箸を
記念品として贈呈いたします。



山形県長井市にある江口漆器工芸で
製作された漆塗りの箸です。
山形大学の文字が刻印されています。

詳しい支援の内容は裏面もしくは
山形大学基金HPからご確認ください

寄付する↓



山形大学基金HP↓



山形大学基金が実施している学生支援

○経済的修学困難学生への支援

経済的な理由で修学に困難がある学生等に対して支援を行うことにより、意欲と能力のある学生が希望する教育を受けられるよう支援しています。

令和5年は、物価高騰に伴い影響を受けている学生に対し、パックご飯や、インスタント食品、ペットボトル飲料など、21種類の食料品の中から、一人5品、好きなものを選んで持ち帰ることのできる経済対策支援を行いました。

【学生からの感謝の声】

物価が上昇する中、食料を無料で配布してもらえるのは大変ありがたいです。

今後もぜひ参加します。本当にありがとうございます。

何を買うにも高い世の中になっているので、このような支援は本当に助かります。

また機会があれば、是非立ち寄らせて頂きます。



○大学公認学生サークルへの支援

小白川、飯田、米沢、鶴岡の各キャンパスにある各「大学公認学生サークル」活動に必要な資金を支援しています。

また、日本最大級の学生による資金調達イベント『Giving Campaign』に参加し全国から応援をいただいております。

【学生からの感謝の声】

漕艇部へご寄付いただき、部員一同より感謝申し上げます。

今後も多くの大会へ出場し、良い成績を残せるよう、努力していく所存です。

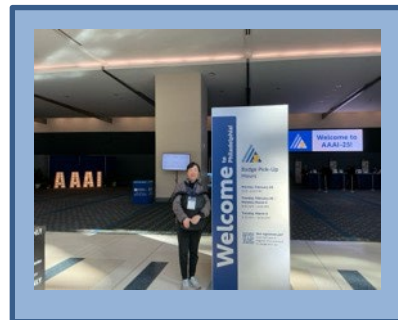


令和7年（2025年）4月10日

高性能で軽量な変化検知技術を開発しました ～人工知能分野トップ国際会議 AAAI に採択された技術！～

【本件のポイント】

- 数理現象である「次元の呪い」を変化検出に活用できることを発見
- AI、人工知能分野において超難関であるトップ国際会議 AAAI に採択されたのは、投稿件数10,000超となつてからは山形大学では初めて
- この4月に発足した理工学研究科・数理情報システム専攻教員（理学部主担当）による成果



【概要】

山形大学とアズビル金門株式会社の共同研究チームが、高性能かつ軽量な変化検知技術を開発しました。この技術は、工場の機械や家庭のメーターなどから得られるデータの異常な変化をリアルタイムで検出し、迅速な対応を可能にします。特に、従来の手法に比べて計算負荷が圧倒的に軽く、エッジデバイス上での実装が可能である点が大きな特長です。

さらに、本研究では数理現象である「次元の呪い」を逆手に取り、精度の高い変化検知を実現する新たなアプローチを提案しました。この革新性が評価され、AI、人工知能分野のトップ国際会議「AAAI 2025」に採択されました。投稿件数 10,000 超となった AI、人工知能分野の国際会議に採択されたのは、山形大学として初めてです。この4月に発足した理工学研究科数理情報システム専攻では、このような先進的な研究を学ぶことができます。

【背景】

工場の機械や家庭のメーターが記録する時間系列データには、通常の操作による変化だけでなく、故障などの予期しない異常も潜んでいます。これらを見逃すと、安全性や信頼性に深刻な影響を及ぼす可能性があります。

さらに、クラウドを介さず現場のエッジデバイスで即座に異常を検出し、迅速にアラームを発することが求められます。そのためには、高精度でありながら計算負荷の小さい変化検出技術の開発が不可欠でした。

【研究手法・研究成果】

本研究では、水道やガスの使用量などの時間系列データの変化を検出するために、変化前後のデータセットを比較する新手法を開発しました。まず、時系列データを高次元データに変換し、変化前後のデータ間の違いを調べるために、一方のデータセットに属するデータをクエリとして他方のデータセットを検索しました。この過程で、高次元データの検索において特定のデータが頻繁に検索結果に現れる「ハブネス現象」が発生することが知られています。本研究では、ローカルセンタリングとベクトル正規化を適用することで、このハブネス現象を制御し、変化がない場合はデータ分布が均一になり、変化がある場合は均一にならないことを発見しました。この特性を活かし、高次元超球面上の一様性検定を用いた新しい変化検出手法を提案し、従来手法に比べて計算負荷を抑えながら、高精度な変化検出を可能にしました。

【今後の展望】

本研究で開発した変化検知技術は、計算負荷が小さいという特長を活かし、さまざまな分野への応用が期待されます。具体的には、産業機械に組み込んでリアルタイムで異常を検知する方法に加え、大規模プラント（工場）に設置された多数の機器やセンサーのデータをクラウド上で統合・解析し、個々の機器やセンサーごとに異常検知を行う活用方法も考えられます。従来の手法では、プラント全体の大規模なデータ処理は計算コストの面で課題がありましたが、本技術の計算効率の高さにより、プラント全体にわたる広範な異常検知が可能となります。

さらに、本技術は既存の異常モードや故障モードを前提としたアルゴリズムと並列的に実装することができるだけでなく、異常モードを事前に定義しなくてもシステム全体の変化を捉えることが可能です。これにより、従来の手法では見落とされがちだった未知の異常の検出にも貢献できると期待されます。

産業分野にとどまらず、水道、ガス、電気などの時系列データを活用し、需要家（世帯）のライフスタイルの変化

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

を捉えることにも応用できます。これにより、新しいサービスの創出やエネルギー利用の最適化など、多様な分野での利活用が期待されます。

今後、本技術のさらなる発展と実用化を目指し、産業界との連携を深めながら、さまざまな応用分野での実証実験を進めていきます。

【論文の詳細】

表題：Hubness Change Point Detection

著者：Ikumi Suzuki, Kazuo Hara（山形大学・理工学研究科・数理情報システム専攻）、Eiji Murakami（アズビル金門株式会社）

国際会議：The 39th AAAI Conference on Artificial Intelligence (AAAI), to appear.

※用語解説 本文中の難しい専門用語やプロジェクトの説明等はまとめて記載

1. 次元の呪い：高次元空間では、ほとんどのデータが中心から等距離になり（球面集中現象）、一部のデータが多くのデータにとって最近傍になりやすい現象（ハブネス現象）が生じます。これにより、距離や最近傍ベースの検索や分類の性能が劣化し、データ解析が困難になるため「次元の呪い」と呼ばれます。

2. AAAI：NeurIPS、CVPR、ICLR と並ぶ AI 分野の主要国際会議（毎年開催）で、今年で 39 回目の開催となります。近年の投稿数は 1 万件を超え、採択率は 20～30% 程度です。ChatGPT のような大規模言語モデルの学習や評価手法も頻繁に発表されており、日本からの採択は数% 程度です。詳しくは、「人工知能分野及びロボティクス分野の国際会議における国別発表件数の推移等に関する分析」、文部科学省 科学技術・学術政策研究所 科学技術予測・政策基盤調査研究センター、鎌田久美、堀田継匡 著、2023 年 5 月、<https://nistep.repo.nii.ac.jp/records/6846> を参照してください。

3. ローカルセンタリング：クエリデータの近傍データの平均ベクトルを引き、差分ベクトルを求めること。

4. ベクトル正規化：差分ベクトルの長さを 1 に揃えること。

5. 高次元超球面上の一様性検定：球面上のデータが均一に分布しているか、偏りがあるかを判定する手法。その高次元版。

お問い合わせ

学術研究院教授 理学部主担当 鈴木郁美 / 原一夫

メール ikumi-s@sci.kj.yamagata-u.ac.jp / hara@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

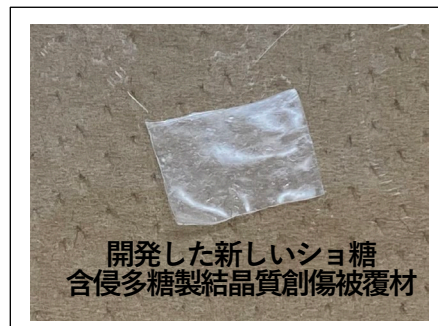
令和7年（2025年）4月10日

調湿環境の下で深い傷を引き攣れなく早く治し、傷と癒着しない 多糖製結晶質創傷被覆膜を初めて開発

～砂糖の主成分（ショ糖）を含ませることで、さらに速く傷が治る～

【本件のポイント】

- ショ糖を含ませた調湿性結晶質創傷被覆膜を深い皮膚の傷（難治の深達性創傷）に貼ることで、被覆材が傷に癒着なく、従来のハイドロコロイド製医療用創傷被覆材より早期に治癒することを発見。
- グルコース/マンノース（多糖）から作られた多糖製結晶質創傷被覆膜にショ糖を含ませる開発・技術および有効な創傷治癒効果の発見は国内初であり、特許出願した。また、難治の深達性創傷の治癒に十分に対応できる初の創傷被覆材。
- 今後、競争的資金導入およびテイカ製薬（株）（富山市）との共同研究によって応用・実用化研究が加速することが期待され、医学分野での医療機器としての応用が期待される。



【概要】

難治の深い傷（深達性創傷）は皮膚縫合が選択されることが多く、この治癒に対応できる創傷被覆材はなかった。本研究では、深達性創傷治癒に対応した新しい創傷被覆材を開発した。この創傷被覆材は、多糖（グルコース/マンノース、通称グルコマンナン）の分子を層状に配列した結晶質膜に砂糖の主成分であるショ糖を浸み込ませたものである。このショ糖を浸み込ませた多糖製結晶質創傷被覆材は、深達性創傷で見られる多量の浸出液を吸収し、過剰浸出液を蒸散するという自己調湿機能を持ち、深達性創傷との癒着や治癒組織の炎症がなく、早期に深達性創傷が治癒できる初めての材料である。

【背景】

皮膚は外界から身を守る重要な組織です。皮膚を深くまで損傷や欠損（深達性創傷）した部位は一般的に皮膚を縫合しますが、引き攣れによる機能的低下が課題となります。また、皮膚は自然治癒しますが、深達性創傷部位は瘢痕が作られ、この場合も機能的低下を引き起こします。医療用創傷被覆材は、創傷から漏れ出す浸出液（体液）を吸収しながら湿潤環境を維持して皮膚を再生しますが、浅い傷（浅達性創傷）に対応しており、深達性創傷には適用できません。仮に、医療用創傷被覆材を深達性創傷に適用したならば、深達性創傷で多量の浸出液が発生して吸収しきれないこと、傷との癒着が発生することなどから、慢性的な炎症を伴う皮膚の再生と比較的長い治癒期間が必要です。そのため、多量の浸出液を蒸散しながら湿潤環境を維持し、傷の炎症を抑え、引き攣れや癒着なく早期に深達性創傷を治す新しい創傷被覆材が求められてきました。

【研究手法・研究成果】

本研究で開発した創傷被覆材は、グルコース/マンノース（多糖）を原料にして、その分子を層状に配列した結晶性多糖膜にショ糖を浸み込ませたものです。このショ糖を浸み込ませた多糖製結晶質創傷被覆材の深達性創傷に対する治癒は、医療用創傷被覆材で通常4週程度を要するのに対して、僅か1週程度で創傷が閉鎖（創傷治癒が完了）し、炎症や癒着なく治癒することから、従来の創傷被覆材より極めて優れた治癒効果を示します。この優れた治癒効果はラットを用いた動物実験により明らかにされました。本研究は科学技術振興機構（JST）のA-Step可能性検証(R5.10～R7.3)で行われ、その成果としてR6年5月に特許出願し、本年R7年3月21日にBioengineering 12巻、327頁(2025年)に掲載されました。

お問い合わせ

学術研究院教授 山本 修（生体機能修復学）／理工学研究科（化学・バイオ分野担当）

TEL 0238-26-3005 メール yamamoto@yz.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【今後の展開】

多糖製結晶質創傷被覆膜の基礎的な性質は市販・医療用創傷被覆材の欠点を十分に解決できている。ラットを用いた検証実験から人皮膚に近い動物を用いた検証実験などをテイカ製薬（株）と行い、人への実用化に向けて開発を進め、可能な限り早く患者の手元に届けたい。テイカ製薬株式会社は、医療用を含む医薬品の開発・製造・販売を行うメーカーです。

詳細は、工学部、学部長記者懇談会で説明する予定です。

令和7年（2025年4月10日）

大阪・関西万博EARTH MARTに古川研究室が出展協力します！ ～「未来のフロア」にある、「進化する冷凍食」に低温凍結粉碎含水ゲル粉末～

【本件のポイント】

- 4/13～10/13まで行われる、大阪・関西万博のEARTH MARTの「未来のフロア」の中の「進化する冷凍食」として低温凍結粉碎含水ゲル粉末と低温凍結粉碎含水ゲル粉末を使用した未来のお米や未来の冷凍食品をニチレイフーズ様との共創で展示します。
- そして、未来の食品を造形するツールとして、古川研究室の3Dフードプリンター「JETCOCK」が展示され、近未来的な空間を実現しています。
- 低温凍結粉碎含水ゲル粉末は見るだけでなく、匂いを体験できるコーナーもあります。



【概要】

大阪・関西万博テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」4/13-10/13 まで大阪夢洲で行われます。放送作家の小山薫堂さんがプロデュースするパビリオン「EARTH MART」では日本人が育んできた食文化の可能性とテクノロジーによる食の最先端を提示し、より良き未来へと導く「新しい食べ方」を来場者と共に考えます。その中の「未来のフロア」では、「進化する冷凍食」として古川研究室がニチレイフーズ様と共創し展示します。

【背景】

冷凍食品が一般的になってから半世紀以上。

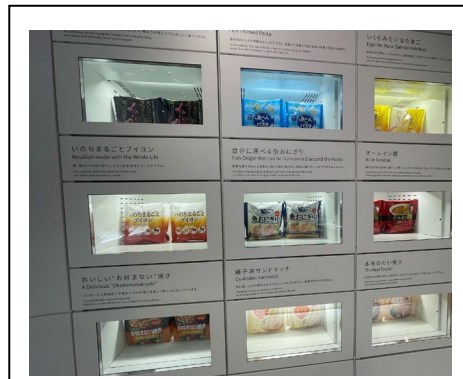
現在、その技術は大きく進歩して、ただ便利というだけではなく食材ロスや飢餓の問題を解決しながら、美味しく新しい食べ物を生み出しはじめています。この展示は、その先にある大きな可能性のひとつです。

そして、低温凍結粉碎含水ゲル粉末は食べ物の形などの状態問わずおいしく長期保存ができ、さらに低温凍結粉碎含水ゲル粉末と3Dフードプリンターは食品ロスや（やわらかさを調節できることから）介護食への応用、宇宙食への展開が期待できます。

【研究手法・研究成果】

低温凍結粉碎含水ゲル粉末をベースにお米の形に再成形したり、料理に転用することで、新しい価値を持つ未来の食品の可能性を提示しています。他の食材から作られた米型の食品は、山形大学・古川研究室と株式会社ニチレイフーズの共創によって実験的に開発されました。

【展示の概要】



配布先：学長記者会見参加報道機関



お問い合わせ

機械システム工学専攻（古川研究室）

TEL 0238-26-3197 メール swel@gp.yz.yamagata-u.ac.jp

令和7年（2025年）4月10日

そばあとfrom戸沢村

【本件のポイント】

- ・今回「山形大学チャレンジプロジェクト」を利用し、山形県最上郡戸沢村の特産品そばの実を用いたジェラートを株式会社ベジアのご協力を得て製品化した。
- ・戸沢村のそばの実を使ったジェラート「そばあと」を製品化することで、戸沢村を活気づける力になると考える。
- ・4月上旬から山形大学生協コンビニ小白川キャンパス、米沢キャンパス、道の駅とざわ高麗館で販売予定である。

【概要】

私たちは、山形大学の基盤共通教育、基幹科目「フィールドラーニングー共生の森もがみ」で戸沢村の新たな特産品開発を行うプロジェクトに参加し、戸沢村の特産品そばの実を使用した「そばのジェラート」を提案した。講義を終えて、「戸沢村を活気づける力になりたい」「戸沢村の魅力を多くの人に知ってもらいたい」、という思いからチャレンジプロジェクトに申請し、そばジェラート製品化を目指して、山形大学工学部の城戸教授が社長をしている「株式会社ベジア」との連携のもと活動した。味を決定するにあたって戸沢村旬の市でヒントが得られないか模索したり、何度かベジアと会議を重ねたりした。最終的にオリジナリティを出すためにそばにプラスアルファで合う食材を研究した結果、七味と柚子を加えることに決定した。完成した「ゆず&七味入り そばあと」は2025年4月上旬から山形大学生協コンビニ小白川キャンパス、米沢キャンパス、道の駅とざわで数量限定販売！！

【背景】

- ・山形大学基盤共通教育、基幹科目「フィールドラーニングー共生の森もがみ」を通して、戸沢村の新たな特産品を開発するプロジェクトに参加した。
- ・講義の際に宿泊させていただいた民宿先がかつて蕎麦屋さんを経営しており、メニューにあった「そばがき」からそばのジェラート「そばあと」を連想させた。
- ・「戸沢村を活気づける力になりたい、戸沢村の魅力を多くの人に知ってもらいたい」という思いから、「そばあと」製品化に取り組むことを決定した。

【今後の展望】

2025年4月上旬から以下の場所で数量限定販売！！

- ・山形大学生協コンビニ小白川キャンパス 50個
- ・山形大学生協コンビニ米沢キャンパス 30個
- ・道の駅とざわ 高麗館 30個



▲学生の活動報告動画はこちら
(4/16まで限定公開)

お問い合わせ

プロジェクト代表 佐藤凧紗（工学部1年）

学術研究院教授 阿部宇洋（歴史民俗資料学）

メール taka.abe@cc.yamagata-u.ac.jp